

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-101)、
廃棄物管理施設(76)、MOX燃料加工施設(2-61))」

2. 日時:令和5年9月27日(水)13時30分~16時20分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長
他2名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年9月14日及び9月26日の提出資料に基づき、申請対象設備に係る具体的な設備等の設計について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・先行して整理を進めた閉じ込め機能を主条文としたグローブボックスの構造設計での対応が今回追加部分で十分展開できていないため、各作業者がやるべきことをしっかり理解して取り組めるよう、方針、留意事項等を整理して対応を進める。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年9月14日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年9月26日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	公開しました。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:06	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった最初に施設廃棄物管理施設と、令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:20	資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサク、
0:00:30	アライオオハシオノヤマグチとオクれて、カミデとヨコヤマが参加しますと、その他WEBからフジワラハバサキ。
0:00:41	以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の
0:00:48	議題、
0:00:49	ご説明した資料の説明開始してください。
0:00:55	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:59	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:02	Steeringチームより、
0:01:05	イシハラ、
0:01:06	イシグロタカヤ。
0:01:08	あと、MOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:14	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、共通中にMOXの説明グループ1になります。資料といたしましては、9月14日に御ご提出差し上げた共通中に、
0:01:28	及び、昨日、ご提示差し上げました。共通中に、MOX説明グループ1における修正が必要な項目。
0:01:37	二つの資料を持ち、
0:01:39	をご確認いただきたいと思っております。それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:48	はい。宮城西原でございます。それでは、共通中に、ビジョン12ということで9月14日に提出をさせていただきました資料に基づきまして、
0:01:58	説明をさせていただきます。
0:02:00	資料の説明でございますが、965ページのところにMOXの設備機器の対象に至る目次が行ってございます。
0:02:13	企業1の3番、ということでこのダムごとに説明をさせていただこうと思っております。

0:02:23	その説明に対しては、昨日、9月26日に提出をさせていただきました。グループ1項目というふうにイトウございますので、資料等の対応関係も含めて、
0:02:39	詰めて、
0:02:46	資料のページ、
0:02:51	68ページからが資料1、地域の説明を、になります。
0:02:58	こちら、青でハッチングしているものオノ箇所がございます。こちらが前回ビジョンでオダした時からの修正点を青いハッチングしてございます。
0:03:09	何かやりとりの中での修正があつてますので、
0:03:18	ページでいきますと、
0:03:23	81ページのところに
0:03:26	ニワこれも小さくて恐縮でございますが、
0:03:30	真ん中のところにですね兼用括弧市場と書いたものをの欄がございます。
0:03:36	こちらにDB側の設備とSAの設備兼用しているものをそれぞれ欄をいくつか設けているものがございましたこれを、
0:03:46	例えばでございますが、豪邸再掲の車配管、これ主盤中央AB側、中の盤中を、
0:03:56	外部放出抑制設備ということでSA側のラベルを貼って一つの項目で整理をすると。
0:04:02	というようなことをさせていただいているところがございます。
0:04:05	またまだちょっと整理が十分追いついてないところは、ページめくっていただきまして69ページの一番頭にですね、
0:04:14	第8条で竜巻外部火災火山航空機値、落下、その他のところに注の3というのがございます。
0:04:24	この中の3の説明は、ページでいきますと、
0:04:34	ほんじゃ、
0:04:39	ページでいきますと98ページに注の説明がございますがこれ以前も、これでは説明が繋がらないねという話とあとは特に、
0:04:50	この中でSAである防護設計の条件になっているようなもので、設計基準DBと重ね合わせて説明できるものをこの中で、要求事項としてピックアップすると。
0:05:00	ということが目的になります。

0:05:02	その際に、例えば、あまりもカセないですけどジャンプアップするようなものがあれば、そのジャンプアップの条件みたいなものもこの中で表していくということで、この各、
0:05:15	リリー側で立てている条文で、どういう範囲を説明するのかというようなことが見える化できるというような作業をしようと思っておりますがまだそこまで注書きの記載も含めて、追いついていないというのが現状でございますが、今後は修正しようと思っております。
0:05:31	昨日出した資料に書いてなくて恐縮でございますが、こちらがここを修正しなきゃいけないと思っているポイントでございます。
0:05:38	また、資料 1 の最後にですね 99 ページから、
0:05:44	施設共通、基本設計方針の項目を 1 台並べまして、
0:05:50	それと、条文の基本設計方針番号とのリンクを取りつつ、各、これの
0:06:00	対象になる設計説明分類番号というのでリンクを取って、それぞれ必要なところに必要な設計が展開できるようにということで整理をした、しているところでございます。こちらがまた、資料 2 側で同じようなこの番号をKICりして、
0:06:17	勉強が図られて整理がされていしているということでございますがそのまま、後程資料の中で説明をしていると思っております。
0:06:28	シバ、
0:06:31	はい。資料 1 については説明は以上になります。
0:06:40	長ヤマグチです。
0:06:42	藤。
0:06:45	最初目次で切ったということだったんですけども、
0:06:51	そうですね失礼しました別添がついてます。123 ページ以降に、目次別添というのがあってこちらが以前お話していた基本設計方針で出てくる集合
0:07:03	に応じて関係する基本設計方針、
0:07:07	それと対応する設備というのの整理を、先ほどの資料 1 の、
0:07:13	設備リスト縦軸の番号とのリンクを取っている資料になりますこれを関係してる条文、すべてに対して整理をしているのが別添ということになります。はい。
0:07:24	院長山口です。
0:07:26	今回市のヒアリング資料 1、中心についてということでちょっと資料 2、3 とかで、関連。

0:07:35	大グループ医師の上條分がちょっと全然駄目っていうところはまた後での話だと思うのでまず資料1の申請対象設備リスト。
0:07:44	に関して、前年じゃない規制庁側から確認ありましたらお願いします。
0:07:56	規制庁の内原です。
0:07:59	愛称リストのリストを整理されたという、これまで多分ヒアリングがされたという話で、
0:08:09	何行かにわたってやったものを一つにまとめたって理解でいいんです。でしたっけ。
0:08:18	はい、イノウエニシダでございます先ほどご説明したのがそうですね今おっしゃっていただいたようなところでもともと、
0:08:25	MOXも全くやっていなかったわけじゃなくてですね、例えばですけど、グローブボックスみたいなものは、もともと種々セットにして整理していたものもありました。
0:08:37	これ大会的に議論になってももともとはDBで使うグローブボックスの項目等、
0:08:47	清野、発生原因なり、SAですね、SRDグローブボックス、これを別々の項目で立てたりしてたんですがそれを段階的に整理をして合体をしました。
0:08:59	ただ整理の仕方が共通的な展開がうまくできてなかったところで先ほどあったような、換気系のところがまだ、以前相変わらず換気設備としてフラグが立っているところと、
0:09:12	外部放出抑制設備としてフラグが立っているところがそれぞれ分かれて、同じような展開をしていたところを、H81ページのように合体させて一つの項目で展開できるようにということで整理をしたということでございます。
0:09:27	規制庁の藤原です。その時に、合体させた場合、一番左に書いてある番号とかがってどう整理されたんですか。
0:09:40	はい、乳井の石田でございます。はい。今後他で使っている資料とのリンクもはからなきゃいけないんですが番号詰めてますので今まで説明してたのが若干番号がずれてたりというのはあります。
0:09:52	規制庁の藤原です。状況はわかりました
0:09:57	パッと見ていくときに、おそらくヒアリングなんかでも確認する時って番号を言いながらとかがってこともあるかと思うので、他の資料と出そうが出ないように、対応していただけたらと思います。
0:10:08	とりあえず、資料1について私から以上です。

0:10:12	内尾ヤマグチですとちょっと今のに関連して確認なんですけども、
0:10:17	共通 12 資料の 518 ページとかでもうこれまで過去の会合
0:10:26	アノし、設備室っていうの、
0:10:30	あげてって、
0:10:32	これらの審査の進捗を惜しむ
0:10:38	影響はあるんでしょ。
0:10:46	はい。峰志田でございます。今までカウントしてた部分については兼用の場合はダブルカウントしないように言っていましたので今回の整理をしても得な影響はございません。
0:10:56	はい、規制庁山賀
0:10:59	麻生。
0:11:06	清町ヤマグチです
0:11:09	と資料一位に関してどうか確認したいんですけども、
0:11:15	99 ページから施設共通と基本設計方針について、整理されたところについて、
0:11:22	この整理について本文の方だと、あんまり施設共通のことを、の整理をちょっと
0:11:31	記されてないように思えるんですけどちょっとこの文の方だと、
0:11:36	ページが、
0:11:44	文の方で言うと 22 ページで、
0:11:48	1 に三つ目の矢羽根ですかねシス共通のことを書かれているため、ここで
0:11:55	それぞれの方針施設共通として扱うこととか、その抽出が抜け漏れなく行われていることとかって、特に本文で何かこう、
0:12:05	整理した状況とかって、特に触れてないと思っていいですかね。
0:12:16	はい。日本原燃者でございますはい今のおっしゃっていただいて施設共通基本設計更新等、
0:12:24	設備の紐づけ、あとはそれに関連する設定説明分類とのリンクっていう中での抜け漏れがないようにということの考え方は、本文上、
0:12:38	少なくとも留意事項としては、記載をする必要があると思いますので、本文のこの 22 ページに該当する記載は、少し拡充をしたいと思います。プラス、おっしゃっていただいたようにこれが、
0:12:52	資料 2 とのリンクで資料 2 に来たときにもう、

0:12:56	それが今ここで書いてある要求種別との関係も含めてしっかりと必要な設計項目に展開されるようにというケアも必要でありますので、そういうところも紐づけて、
0:13:08	本文上を整理をしていきたいと思えますはい。
0:13:12	規制庁山口ですよろしくお願いします。
0:13:16	もう
0:13:17	実践に関してなんですけども 112 ページ、この施設共通の、
0:13:24	112 ページ溢水。
0:13:27	あるんですけども、一斉については基本設計方針の第 2 章個別項目の
0:13:34	ほとんどの防護対策設備っていうのは第 4 回での評価結果を踏まえて設置するため、第 2 回対象なしってしてると思うんですけども、一方下米は、
0:13:45	第 2 回から丸がついてて、
0:13:48	評価は第 4 回で説明するってしてますけども、
0:13:52	亀井が言って第 4 回よりも前に、概略評価により設計を借りて、担保した上で第 4 回で正式評価歯石を担保するみたいな、
0:14:02	そういうものは他のや壁以外はないと思っていいですかねこのちょっと丸付けの考え方を説明いただければと思うんですがいかがですか。
0:14:17	はい。日本原燃車でございます。はい。
0:14:22	この貫通部のところについてはまずは設計上、将来、一斉評価なんかを、第 4 回の申請でやる前に、
0:14:34	設備で貫通部が生じる場所もありますのでそういった貫通部に対しての構造上の排除ということを設計としてタオカをする必要があるということで、
0:14:44	第 2 回から展開をしています。それ以外じゃないのかというのは基本的に、そういうのがないということを前提に整理をした上で説明してますが、
0:14:54	そういった整理の結果になった考え方なりを、この中で記載をするようにさせていただきます。はい。
0:15:03	長ヤマグチです。
0:15:06	そうですね。
0:15:07	諏訪さん。
0:15:09	人数、
0:15:11	あんまりなしってということで、基本的にはないってことだとは思いますが、すけどの考え方ははい。

0:15:19	ここに必要であれば、実際いただければと思うんですけど今の説明で認識はしました。
0:15:29	あと、
0:15:30	関連してなんですけども、
0:15:32	第2章の壁っての今の貫通部、
0:15:36	の話とか開口部高さとかが該当するって考えてるんですけども、
0:15:42	これ一応第1回は、MOX建屋が対象で、それ。
0:15:49	それでは概略評価を行って第4回の評価で最終的に担保を取るっていうことで話があったと思うんですけど、
0:15:56	この下米第1回で丸がないのってどういう。
0:16:02	建屋はまた別で、ナカノ壁は、
0:16:07	違いますっていうことなんですかね。
0:16:09	はい。宮野インダでございますはい。ちょっとこも、すいません改めて整理をします第1回でおっしゃるように概略評価やって高さ設定しましたこの建屋外からの溢水の、
0:16:21	ことを整理をしてました。ここでってのは建屋内での溢水の話をしてるんですが、
0:16:27	項目として、
0:16:29	抜けがないかということていくと一応今考えてるのは第1章共通項目で建屋外からの溢水評価というのが出てきますので、
0:16:38	その中で、建屋外の溢水の話、第1回でも展開してましたということて丸をつけているつもりで整理をしてましたがそこの関係を整理をしていくと。
0:16:50	これで第2章に来ると、建屋内の溢水に対するいろんな防護対策の話を、個別具体の展開をしていますのでその中に出てくるものっていうので、この壁括弧貫通部止水措置を含むと言っているものが、建屋内の話をさせていると思って整理をしますがその関係を、
0:17:06	今一度、それで本当に合ってるかということも含めて、
0:17:10	確認をします。
0:17:13	はい。よろしく申し上げます。
0:17:15	あとそうですね、第1回の際に、そもそも今回の申請対象はどこまでなのだからということて、建屋って言うところで、壁はどっちに入るんだとかいう話を、
0:17:27	知ってたと思うんでちょっとそこの整理私もちょっと十分覚えてなくて申し訳ないんですけども

0:17:34	お作りいただければと思うので、お願いします。
0:17:41	あと他資料 1 関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:17:53	よろしければ次資料 2。
0:17:57	について、原燃側から説明をお願いします。
0:18:05	はい。入社でございます。それでは資料 2 が 154 ページからでございます。まず、
0:18:13	共通的に大変恐縮でございます。
0:18:17	細かい表が、
0:18:19	まず、157 ページ以降ついてますが、
0:18:23	人が見る領域をすでに超えてますのでまず、基本的に資料 2 の字の大きさは変えますということは全体的に修正させていただいてます今、
0:18:33	はい。
0:18:35	あとは資料には、155 ページに、今回の
0:18:40	対象条文としてエントリーというものを、を項目として上げるんですが、全体として、
0:18:49	第 2 回申請全体で必要な条文を書いた上で、第 2 回に必要なものというのを、項目として今回エントリーして、それ以外は追って示すということで、
0:18:59	※2 かなとか五名をつけていると、いうことでございます。
0:19:06	はい。
0:19:07	先ほど第 2 回申請に必要なだなといったものが※1 に該当する記載になります。
0:19:13	今回この後ろについてます。説明グループ 1 の対象になる条文が、第五条第 26 条の地盤ダイゴ九条第 27 条の実施。
0:19:25	あと田井伊井
0:19:28	十条の閉じ込め、
0:19:31	あとは第 10 条の安全機能を有する施設、第 16 条搬送設備、第 20 条の第 17 条の貯蔵施設、
0:19:40	第 20 条の廃棄施設、第 23 条の換気設備ということになります。
0:19:45	これに改定する、資料にはそのあと、条文ごとにシートをつけさせていただいているということでございます。
0:19:54	資料の構成は同じような展開にさせていただいた上で、
0:20:01	耐震については以前、

0:20:06	次に指摘をいただいでいてそれぞれのこのシートを作る上での耐震、例えば、
0:20:14	5.9 ページでいきますと、字が小さくて恐縮ですけど、
0:20:23	設計説明分類。
0:20:25	下線は代表と書いているのところに、
0:20:28	青字で、
0:20:31	モデルの設定の項目を変えたりですね、それ以外のいろんな
0:20:39	設計する、耐震計算に上げるために提示しておかなきゃいけないキーワード棒、書いております。ただこれも、どういうふうにこれを紐付けていったのかというのも参考資料の中でもしっかりと展開をし、やり方を示すことと、
0:20:54	考え方を示すことという指摘をもらってますのでそれに随時、参考資料からの修正を行っているところでございます。
0:21:02	あとはこの右側に行くと同じような項目が並んでいるところがいくつかございます。構造設計と評価が入れ子になってるところもありますけども、そういうところも含めて、
0:21:13	全体共通的に同じような記載をしているものはなるべく性を結合して、間違いがどこにあるのかというのがわかるように、記載の整理をしている進めているところでございます。
0:21:24	あとは一番左、右側に関連する補足説明資料とか番号をひもづけてこの要求事項と関連する補足説明資料をリンクをしていくと。
0:21:35	ということで整理をさせていただいてございます。
0:21:39	はい。
0:21:42	ということをやっているのと、
0:21:47	先ほど、
0:21:49	資料 1 の中で説明しました。
0:21:56	AVが飛んで恐縮ですが、
0:22:04	107 ページで、先ほどあった施設共通の例えば閉じ込め条文の外国会 交付各部局の維持と言ってるのが、
0:22:14	この広告番号 3 っていうの番号の書き方がいろいろと違っていても 合わせていきますがこれは基本的ヨシノ他でアノし、
0:22:23	資料に行きますと、10 条の 3 というような番号になる項目でござい ます これと、
0:22:29	これが既施設共通純設計をして展開されますよということが資料 2 で具 体的に展開されるのが 185 ページ。

0:22:39	こちらで
0:22:42	3番の項目見ていただきますと、この設備左から1234列目に青字0施設共通と書いてるものがございます。
0:22:52	これを右の方に展開するときに、
0:22:56	何らか構造として、
0:22:59	対応しなきゃいけないものというのが何があるかというのを整理をした上で、
0:23:03	これも新しく言葉を使っているのでこの趣旨を本文上も整理をする必要がありますが、構造設計括弧運用と書いているのが、3の中に幾つかあります。
0:23:14	これを2展開をして、負風量を確保するためのポートの運用というのを、また恐れ要件として、設計に展開をしていくと。
0:23:26	これがまた個別補足説明資料に展開されますよというひもづけで、施設共通設計方針、例えば運用であつてもちゃんと設計上担保するものが何かと言うことを、整理をして展開をするということで整理をさせていただいていると。
0:23:41	ということでございます。
0:23:44	はい。他にも191ページの、あんようですかね、安全機能養成施設、これでも環境条件みたいなものが9番以降に出てきますこれも、
0:23:55	これもページが飛んで恐縮ですが、
0:24:00	113ページ、安全機能湧水税第十条の整理をしておりますけどこれの上から9番とか10番とか11番これがちょうど
0:24:11	資料2でいくと191ページ2、同じように展開をされて、これも施設共通と言いながら何らか構造設計上考慮すべきものがあるのかという整理をしていくと。
0:24:22	ということでございます。こういった整理をして抜け漏れなく展開をするということをやっているという様でございます。
0:24:30	ただこの紐づけがまだ、もうちょっと整理が要るんじゃないかなんかと思っております。どうということ、こういう設計項目にしたのかということの基本的な考え方みたいのをしっかりと本文で書いた上で、
0:24:44	展開をしていかないと、また最初に言ったときに、違う整理になってしまう可能性もあるのでそういうことを考えて、
0:24:51	目的、あと方針考え方というものをしっかりと本文上明記していきたいと思っております。
0:24:59	はい。

0:25:01	あとは、
0:25:03	資料 2 の段階でいきますと、
0:25:08	先ほど申し上げたところプラス、昨日出しをした修正が必要な項目の中にあります。
0:25:17	第 16 条の搬送、これどちらかというと個別補足説明資料を
0:25:24	今回追加をさせていただきますということで項目が、
0:25:29	設計方針は変わりませんが、一番右側にある個別補足説明資料の関連が追加になっているということでございます。
0:25:36	ただまだ追加できてないので、該当する番号は 205 ページでいきますと、No。
0:25:43	2 と No. 5、これが、今設計方針上は、
0:25:49	搬送設備における落下防止等の設計になるんですが、
0:25:54	基本的にどういう構造で、落下防止等を図るかは添付書類で当然書きますし、資料 3 での構造設計でも展開をします。
0:26:04	さらにメカニカルな機構であったり、細かい構造のところを補足説明資料で補おうということで、今回、今まで第 1 回の時の、
0:26:15	違う何か 1 回搬送できないんじゃないじゃなくて、1 ヶ月合わせてし別紙 0 資料の別紙合成したときには、搬送 01 という副部長補足説明資料はいらないかなと思ってたんですが今回この整理をすることによって資料 3 まで行ってこないかんということで、
0:26:32	新しく補足説明資料を追加することにしたということでございます。
0:26:37	はい。説明概略になってしまう説明は以上になります。
0:26:43	規制庁山口です。それでは資料 2、
0:26:47	に関して、清町側から確認をお願いします。
0:27:06	もらったやつを言います。規制庁の荒井です。
0:27:10	よろしくお願いします。
0:27:13	今回先ほど石原さんからも説明があった通り、資料 2 については、閉じ込めに関する、
0:27:22	この第十条関係については、
0:27:25	ある程度の記載がされているということが確認できるんですけども、やはりそれに関連する条文、例えば先ほどの第 16 条の搬送施設、
0:27:37	等々々々についてはですねまだ設計のレベルがちょっと閉じ込めと異なっていて、
0:27:43	それ以外の条文では、リア理由の記載どうも薄くですね。
0:27:48	主に整理結果しか示されていないというところもありますので、

0:27:52	今後、これらの取り組み以外についてもですね拡充をお願いしたいと思います。
0:28:05	倍乳井瀬谷でございます。承知いたしました。すみません今新井さんからのご指摘の前提なんですけど、ちょっと私が聞いた限りでは、これから私説明しようとした。
0:28:16	資料3の話がされているのかなと思ったんですけど資料2でも同じことだということですか。
0:28:23	あ、古作です。ちょっと逆に質問しますけど。
0:28:27	資料3で精度を上げていったら資料に反映するっていう話じゃなかったでした。
0:28:33	はい、日本イシハラでございますおっしゃっていただいている通りなのでそういう趣旨でのご質問であればおっしゃる通りだと思います。はい。
0:28:41	経費で書いてることっていうのは当然ながら設計概略的に書いていることですので当然資料3での設計の書き方、書いてる内容を踏まえて、
0:28:52	資料2側の害悪のポイントを押さえる記載も当然ながら反映する必要が出てくるということだと思ってます。
0:29:00	規制庁草場です。それ、
0:29:04	実態どうなってるんだっていうことなんですけど。
0:29:08	今回のものを見ると、
0:29:11	これまで
0:29:12	2月3月とただ最初に竜巻をやり、
0:29:17	うまくいかなかったっていうところを、MOXグローボックスでまずやって、ひな形を作ろうということ作業を始め、それも5影通ぐらいたっている。
0:29:31	その間でいろいろとこういうものはこういうふうに書いたらいいよねという経験を積んできたということだと思っんですけど。
0:29:38	それを展開するっていう断面になって、何で展開できてないのか、どうしていくつもりなんだっていうのを改めて説明いただけますか。
0:29:53	はい。日本原燃者でございますはい。おっしゃっていた状態になってれば認識をさせていただきます。
0:30:00	まずは根本的にベースとして、私の見る目がうまく届いていなかったというのが、第一義的な原因だと思ってます。
0:30:11	今回変更が必要な項目ということで昨日お出しをしましたが、現時点で記載が十分十分とかグローボックスとかでやってきたことが反映できてないのは認識をし、

0:30:25	修正をしていかなきゃいけないというところに立っていつてますが本来これは9月14日に出す前にやることだという認識もございます。1ページは私のスピード感なり、
0:30:37	チェックのやり方なりが抜けてたということで思ってます。当然グローブボックス作る時に、
0:30:46	作っている人間とは議論をして、これは設計じゃないとかこういうふうに書かなきゃ駄目だっというやりとりをしてたんですけどどうまく、それが作成者の中では消化しきれてなかったのかな。
0:30:57	思ってます。そういったものを1個1個上げて、今まさしく、
0:31:02	これは設計というのかと、何を担保したいんだ。
0:31:06	それに対してどう、具体的に言えばどうやってこれ検査するのよということも含めて、
0:31:12	資料3で書くべきことっていうのをポイントとして上げていくということをやらせていただいています。そういうことが、
0:31:22	作業者が実際認識するにまで、私の教育普及活動というか、教諭は教えることができてなかったのが、原因じゃないかなと思いつながら今やっているところでございます。
0:31:37	規制庁小阪です。
0:31:41	あれですか、原燃は、
0:31:45	これからプラントが一。
0:31:48	廃止措置になるまで、
0:31:50	石原さんにずっと生きていてもらい、
0:31:55	チェックしてもらおうっていうことですか。
0:32:01	はい。弓削ニシダでございます。はい私も専任ではないのでそんなことは無理だと思つてますが
0:32:08	今やっける作業の中で当然、私が作るだけではなく、作るんじゃないで、どういうふうにつつたらいいかつていうのを議論しながらやっける査定を動かしてもらつてそれをチェックをし、なぜそれじゃ駄目なのかつていうのを、
0:32:23	教育をしていくと、それが実際教えたメンバーに浸透し、それが下にさらにぶら下がっていくということの、
0:32:33	状態をいち早くつくなきゃいけないというのが、私のも目的とか業務なのかなと思つてますし、やんなきゃいけないことだと思つてますので、

0:32:44	そういうことをしっかりしていくしかないかなと思ってます。決して口を開いて待ってるわけではないと思ってますいろいろ考えてくれてると思ってんですけどまだ、
0:32:54	設計ってどういうものかっていうところまで、頭がおよんでいないという気はしてます。そういったところをしっかりと、
0:33:02	再処理を今までやってきた経験も含めて、
0:33:06	練習をしていくということなのかもしれないと思いながらやっているところでございます。
0:33:13	コサクです。
0:33:16	教育っていう古藤ニワン尽きるっちゃあつけるんですけど、
0:33:23	下のタスクの作業者という形にイシハラさんが
0:33:30	上から下へと。
0:33:32	いうことだけでは、とてもボックスだけでも無理があるし、
0:33:38	最初に展開っていうことがまずありえないわけですよね。
0:33:43	とする等、同意、横向きの、
0:33:47	展開っていうのをどうしていくんだっていう、
0:33:50	ことだと思んですけど。
0:33:53	それで言うところのグローブボックスをやった時に、どういう項目があったのか、それをどう考えていったのか。
0:34:02	でも、
0:34:03	まとめていくのか。
0:34:05	いうところの着眼点なり留意事項なり、
0:34:09	記載方針だったりというのを整理をしないとイケないくて、
0:34:15	それを示すことによって横に展開できるんじゃないかっていうことをこれまで話をしたと思ったんですけど。
0:34:22	その片りんがどこにも見えてこないような気がしてて、それによってうまく回ってないんじゃないかなって気がしてたんですけど、どうなってるんですかね。
0:34:34	はい、日本イシダでございますまずもって、おっしゃる通りだと思います。グローブボックスをやってそれをキックにして展開をするといったときにはおっしゃる通り、グローブボックスの
0:34:48	最初のバージョンを作ってもらった時も、今の搬送設備なりとあまり変わらない別記でした。それを、今の状態まで持っていくときに議論した内容を考えたことっていうのを、しっかりと紙に起こして水平展開をしていくと。

0:35:05	それが一つは本文の役割だと思う。
0:35:09	話をしつつ、そうになってないところが問題だという認識もあります。
0:35:15	当然ながら設計として何を考えなきゃいけないのか、どこがその設計上の境界になるのか、この境界を作成するためにどういう設計を、
0:35:26	構造紙にしないと駄目なのかということを分解をして整理をしていき、
0:35:31	この構造設計の記載に反映していくという作業を、イタレーションを繰り返して、ポイントを押さえながらやってきましたんで、そういうことをしっかりと書き起こしていくと。
0:35:44	ということかなと思いますそれがまずできてないのは、おっしゃる通りだと思いますので本部への反映も含めて整理をしていきたいと思います。
0:35:54	はい。補足です。
0:35:58	これからそのグローブボックス周りの機器用の記載を拡充していくといったときにはおのずとそういう着眼点なり、
0:36:06	仮議論になってくるはずで、
0:36:09	その時にグローボックスを振り返り、どういうことだったのかっていうのを整理をされればですね、
0:36:16	仕上がってくるんだと思いますので、記載漏れがないような形で上げてくれると思うんで、ぜひ対応いただきたいと思うんですけど。
0:36:26	その時2本分、
0:36:28	だけだとですね。
0:36:30	文章がまた膨大になるし、
0:36:33	その文章を体系化するのにも時間がかかるっていう気がするので、
0:36:38	本文と言わずともですね、例えば参考の部分で例示を挙げてイクノでもいいですし、或いは別紙的にまとめるのもいいですし、
0:36:51	まずはコンテンツをそろえて、その上でどう表現するかっていうのを考えていただいたらいいかなとは思うんですけど。
0:36:59	その辺りはどういうふうに進め、何ですか、まずはその形式というよりは、作業の期間なり、進め方っていう点でどう考えてい
0:37:12	たかを教えていただけますか。
0:37:17	はい。稲毛ニシダでございますはい。まずそれ自体にあまり時間をかけてもというかすでにやったことを具現化するということですので参考資料も含めてやることは、
0:37:30	おっしゃる通りだと思います。それ自体の、
0:37:33	そうですね、少なくとも次このヒアリングを踏まえて、直しに行く時の作業の最初にそれがないと、

0:37:41	当然ながら、
0:37:43	駄目だなという気はして当然この後、最初にも展開しますが最初の資料を作る前にもそれがないと、同じような結果になってしまうところもあるので、
0:37:56	今、昨日お出しをし、提示をさせていただいてるスケジュール感でも5日に修正版を出すと言ってる前にはそれが当然あって、
0:38:07	それを展開をひな形に展開をしていくと、ということなのかなと思います。そういった違うな、5日じゃないな、10何日か。
0:38:17	だからでも来週中にはないと駄目だねいろんな作業を考えると、はい、というようなスピード感で、その際他それを使う作業とのリンクを考えながら、進め方を整理していければと思います。
0:38:33	はい。規制庁コサクですわかりました
0:38:38	一旦そういうグローボックスで作業した経験をしっかり書き起こされて、
0:38:47	資料に入れ込み他の作業をしている人たちにも展開をすると。
0:38:51	その様をこちらにも説明いただくということで、展開した結果ですね。
0:38:58	け、展開してそれぞれが作業した結果、わからないからもうちょっと詳しくだったり、誤解されたので修正するだったりと、
0:39:08	というようなことをやったり、他の展開をしていったところ追加で考えなきゃいけないことがわかったので追求をしていくとかっていう作業が出てくると思うので、
0:39:18	そういったところの反映を適宜、していただくということかなと思い
0:39:24	ます。
0:39:26	その1例がですね、
0:39:30	共通 12MOX数説明グループ1の対応方針で書いてある。
0:39:36	ものだと思うん
0:39:38	ですよ。
0:39:39	あくまで、これを書いてあるのは評価から、設計、
0:39:45	考慮事項に
0:39:47	上げるもの、上げなくていいもの。
0:39:50	というようなところの、
0:39:52	論点の部分だけが、対応方針には書かれてるんだと思うんですけど。
0:39:56	もうそれ以外にも、実際にはその資料に起こされたものとかいっぱいあるので、展開いただくと。
0:40:02	いうゴトウではあるんですが、対応方針に書いてあるやつって、

0:40:08	府今話をしたような文書化みたいなものって、
0:40:11	底はついてるんですかついてないんですか。
0:40:21	はい。弓削ニシダでございます。はい。正直ついてませんので、急ぎあります。はい。
0:40:28	はい。コサクです。急ぎというか、今のタスクの中にしっかりと入れ込めばいいんじゃないかなと思いますので、よろしくお願いします。
0:40:41	はい。乳井ニシダでございます承知いたしました。
0:40:49	規制。
0:40:50	長ヤマグチです。資料2のその枠的なところで他、規制庁わかりますでしょうか。
0:40:58	ちょっと聞き逃したんですが、規制庁アライですけど、ちょっと聞き逃したんですけど、そのグローボックスの展開って先ほどありましたけど、それって、どういうスケジュールで具体的にやろうとしてるのかっていうのを教えていただけませんか。
0:41:17	はい。乳井ニシダでございますグローボックスを作った時にどう考えたかと、どういうことを留意をし、有意事項にしていろいろやってきたのかということをもとめて、次の作業への展開ができるようにというのが、
0:41:31	来週の前半までにはそういうのを作った上で、
0:41:36	現状今換気設備等々並行して作業してますので、そういったところへのフィードバックをかけ、レクチャーを敷き、
0:41:44	やりとりをしていくということを進めていくのかなと。
0:41:48	そうすると、中ず。
0:41:52	10日の週ですかに立つやつにはしっかりとそういうものが反映できたものが出てくると。
0:41:57	いうことで作業していければと思っております。はい。
0:42:01	はい、わかりました。ありがとうございます。
0:42:06	すいませんコサクです。今までも、私自身がまた混乱してしまったんですけど、
0:42:13	10日の週と言われているところで見ると、
0:42:18	12日2、共通12の
0:42:24	ボックス説明グループ一井の資料なんかの修正版も提出されると。
0:42:29	ということなので、その際にわあ、今の展開すべきものの整理があった上でその作業をしたものってということになると思うんですけど、
0:42:40	だとする等、
0:42:43	抽出したものの整理はもうちょっと前に出すってということ

0:42:48	先ほど飯塚とかっていうような数字が出てたりだと思ったんですけど、
0:42:53	今の話だと何かトウカー云々っていうなると、
0:42:57	何か時系列がある。
0:43:00	何ですか。はい。悪かったですね。10日の所で10日に出す資料を踏まえて、
0:43:08	他の週にはその考え方前半には作って展開をしていくということで趣旨で言ったつもりでした。はい。
0:43:16	はい。コサクですわかりました。そうすると、5日2本分系の話のヒアリング
0:43:25	が入っているんで、そのヒアリングで話をしていくってことですかね。
0:43:32	はい。日本原燃石田でございます。はい頑張りますとしか言いようがないんですけど。はい。だと思えますはい。
0:43:42	規制庁コサク説わかりました。一応その本文自体は3日に資料提示ということなので、そこに間に合うかどうかわからないけど、間に合わなければ直前にでも滑り込ませて話をして、
0:43:57	翌週の資料提示の中で対応できるように対応していくということで理解をしました。
0:44:13	慎重ヤマグチですか。
0:44:16	あります。
0:44:19	なければ、
0:44:22	イセシヤマグチです。
0:44:24	でもこちらの案内の方からも、
0:44:27	大した通り町と関連条文の方は特に、展開資料2でもその展開が薄くてまず整理されるってということで認識をされてると思うんですけども、
0:44:39	ちょっと個別に確認できればと思うので、
0:44:44	まず204ページ、205ページで搬送施設通があると思うんですけど、これについて昨日出された修正、修正予定事項のところでは先ほども石原さんから説明あったように、
0:44:58	補足説明資料で、
0:45:00	追加して展開しますっていうこと認識はされてると思うんですけども、
0:45:06	搬送施設について、要求として挙げられている落下防止、一層もし、
0:45:12	転倒防止がそれぞれどのような場合に求められてそれが具体的に展開においてどうしてるのかとか、またそれがどういう考え方で設計されてるのかっていうのが、
0:45:24	基本設計方針添付書類の追加Eを見ても、

0:45:29	十分かなって思っていて、例えば
0:45:34	200、
0:45:36	5 ページの項目 3、
0:45:41	でいうと、
0:45:42	基本設計方針の方では、可動機器に対しては一層防止転倒防止が挙げられてるんですけども、その横いって、添付書類での具体的な説明の内容になる内容になると。
0:45:56	3 ポツ 2 で、可動機器の落下防止、C設計のみになってるんですね。こういったように防護措置っていうのはちゃんと整理されてるのかなっていうのがちょっと気になるんですけどその点、
0:46:09	原燃としては認識いかがでしょうか。
0:46:18	はい。人間イシダでございます。まず、前提が押田へ出てとおっしゃっていただいている通り
0:46:25	これ項目が足りてないという認識です。実際、
0:46:30	添付書類の案として作ってイデポイントがあるんじゃないかな、もう申請してるから、社員に書いてあるもの自体は、
0:46:38	ラックをしなきゃなくて、この基本設計方針に変えて落下検討を、
0:46:43	あと、
0:46:44	逸走防止ですかね、についてAとして記載していたはずなので、その後の資料 2 で、展開するときの項目のべきだしが甘いということだと思います。
0:46:57	そういったことも含めて全体この資料に移るときのまさしく留意事項の考え方だと思いますんで、それ、これを整理していくと。
0:47:09	ブロック的には、何かおっしゃっていただいている通りで、資料 3 も含めて全体見ながら、1 点ちょっとキーワード項目って何なんだと。
0:47:19	いうのを、条例にさかのぼって、義務づけをして、こういったところの記載でよいということで、
0:47:31	いうことで、意識してます。
0:47:33	はい。規制庁山口です認識されて、ちょっとそうですね。基本設計方針で書いてることと、展開が甘くてまず、
0:47:41	結局資料 3 での説明にもつなげるためにも、抜け漏れなく整理っていうのをお願いします。
0:47:50	関連して同じ項目番号 3 の、もう少し右の方行って設計説明分類からの枠でちょっと確認したいんですけども、

0:48:02	書かれてることで、第二課では、ペレットのみであり、明白であるため第3回で詳細を、
0:48:11	という説明が書かれてるんですけど、ちょっとこれの意図って何か考え方がわからないんですが、確認したくて、第2回でMOXのペレットを扱う。
0:48:22	可能機器があるにもかかわらず、担保すべきものはなくて、
0:48:27	ていうないのかっていうので、
0:48:30	確認なんですけども。
0:48:32	いかがでしょうか。
0:48:45	表現にしちゃうということだね、一緒にちょっと待ってくださいすみません。
0:49:11	はい逃げニシダでございますこれはどんどの設備にどう要求、どういう要求がかかっているかっていうのもちょっとちゃんと整理をして、左から順番に展開する必要があると。
0:49:21	いうことの最たるもんな気がします。
0:49:25	まず、MOX燃料加工施設で鳥井
0:49:28	粉末、ペレット取り扱う設備っていうのに対して幾つか種類がありますということを前提に整理をしています。
0:49:36	ここのなお書きで書いてある3番の項目は、磯村鎌田店等によって、グローブボックスの閉じ込めに影響を及ぼす。
0:49:47	ものがないように、そういった影響を及ぼさないようにということが前提で書かれてます。
0:49:53	今回第2回の対象になっているものは、
0:49:57	1個ずつ掴んで移動させるものが対象になっていると。それに報ペレットって他にじゃあどうやって扱うんですかってことでいきますと、
0:50:06	取り合いみたいなものに入れて扱うということこれトレーに1ページとか幾つか集合体で出てきますんである程度の重量物になります。ということで、そういった形態を考えてその閉じ込めに影響があるものっていうのが何なのかっていうのははじいて、
0:50:21	対象物を決めているということで、今回の対象はあくまでペレット幾つかんで運用するだけのものなんでペレット1個したところで、閉じ込めに影響するわけではないでしょっていうようなことで、
0:50:31	最初からはずいてその理由を書いているんですけど、この理由でそれがわかるかという全くわからないので、左から順番にその何に対してどういう要求がかかって、今回対象が何で、

0:50:42	それに対して該当するものではないということを考えも含めて、全体の整理をして記載を拡充していきたいと思います。
0:50:52	小コサクです。あれですかね、ここ、単体って書いてあるのがミソなんですか。
0:50:59	はい。
0:51:02	ペレット団体、アノコサクですわ。そうですね聞いてて単体って書いてるのそういう意味かっていうのを、もう感じはしましたけど。
0:51:13	言われるようにわからないですねということだと思います。
0:51:19	今言われたように、その基本設計方針でグーッと
0:51:25	ペレットを取り扱う可動機器は云々かんぬんと。
0:51:29	言ってるもDがどういうものがあって、どう考慮しなきゃいけないのかって全体像がわからないと。
0:51:37	この単品だけ言われてもう、
0:51:41	納得感が出ないっていうことかなあと思うんですが、
0:51:45	そういった点ではどう整理していくといいんですかね。
0:51:50	預言者でございます。はい。
0:51:53	そうですねここに来るとやっぱりMOX燃料加工施設でどういうものを扱ってる設備が、
0:52:02	どのぐらいの所にいるかということも含めて、
0:52:05	あと全体の整理があって、その中で、どういうものが対象にというのを作り上げていくっていう、以前許可の時も
0:52:15	恩恵よりちょっと進化したぐらいで全部の設備を挙げて、どういったものを移動させるような設備だっっていうのを整理をしたものをつけてましたけど、
0:52:24	事搬送に関してはそういうものが前提にあった上でこの入口で、
0:52:29	対象物なんだと、どう考える、どういうものが対象になるって考えたから、これを今回対象にします今回の対象はありませんみたいなことにつなげると。
0:52:39	いうことが必要かなと。なのでこの資料 2 の後ろに、なんか参考ばっか増えて恐縮なんですけど、説明の中絵がないと辛いなというふうには思います。
0:52:50	コサクですそれで雄踏、
0:52:57	昨日提出資料だと、搬送 0 一井で、具体的内容を説明しますよということもあるので、はい。
0:53:08	細かな話をそっちに振っておきつつ、

0:53:12	その程度感としてこういうような状況なんでっていう、
0:53:16	ワンセンテンスぐらい少し考えて突っ込んでおいて、
0:53:21	先ほど言ったように
0:53:25	複数の
0:53:26	ペレットなり何なり、
0:53:28	それなりの重量にな重量のもので移動する場合っていうようなことだと思っんですけど。
0:53:34	そのあたりを変えてでしよう実は搬送ゼロイチ補足でやりますと、
0:53:40	本件についてはその関係から対象になりません対象になりますっていうような言葉を、分かる記載に資料 2 としてはしていただいたらいいかと思っんです。
0:53:52	はい上西でございます。はい。承知いたしましたはい。搬送にあたっては、かつ、この全体像がわかるように、名称も確認を受けるということで
0:54:05	対応していきたいと思っんですはい。
0:54:13	成長ヤマグチですと、
0:54:16	続いて 206 ページから 9 ページにかけての貯蔵施設についてちょっと確認したいんですけども。
0:54:25	貯蔵施設についてと 238 ページ、基本設計方針に対する分類の紐づけ、整理っていうのが示されてる。
0:54:36	と思っんですけども、
0:54:37	庁舎その容量を含めた構造設計は、御説明はグループ 3 で、システム設計はグループ 4 で説明されるっていうことがこのひもづけ。
0:54:50	整理でも示されてるんですけども、崩壊熱評価は、
0:54:57	環境医療に関して、御説明グループ一井での説明対象となっている点についてそのあとのグループで説明する容量は、崩壊熱評価の入力となって、
0:55:11	つまりそのあとのグループで説明する内容を仮で担保して進めるものって理解してるんですけど、そういった関係のものって、
0:55:19	何かどっかで整理されて明確化とかされてますかね。
0:55:32	はい、日本エネシェアでございます。はい。まず
0:55:37	具体的にそういった関係のところを整理したものはまだ作ってませんが、おっしゃっていただいたように説明グループで、どういうものをこのグループで説明して、どれを後ろのグループで説明するっていう、
0:55:52	その考え方が成立する根拠というか、その

0:55:57	どう考えてこうしたのかというところまでまだしっかりと書ききれてないところがありますんで、そういったところを整理することによって、グループ一位でのターゲットが何で、それと関連するこういうものを、グループで説明すると。
0:56:11	一部グループさんだったかな、読んだか、
0:56:15	参加さんに送るものがあるけどもここ一步でこれはグループ1の説明は成立するんだと、というようなことの関係性をですね、整理をしたものを、
0:56:27	作りたいと思います本文上のグループの設定の考え方で正しくことかなと思いますので、そこの整理をしていきたいと思いますはい。
0:56:38	規制庁山口です。そうしどこで、わかるようにするかって言うところで、関連して言うと、200、
0:56:49	207 ページの項目 6、D、
0:56:55	については、
0:57:00	目録のあと右側の、
0:57:02	を行って、
0:57:04	設計説明分類とか、その枠ですね。
0:57:08	項目 6 のようにその評価の前提条件として担保事故っていうようなことになる方針が今冒頭宣言だけ書かれてて、
0:57:18	展開されてないように思うんですけども、
0:57:21	そういったところも含めて、
0:57:25	ちょっと点呼で、
0:57:28	お金、感じなんですけど、整理されるって思えばよろしいですか。
0:57:36	そもそもすいません項目 6 で今、
0:57:40	冒頭宣言のためだけで示されてるんですけども、
0:57:46	その評価の前提と条件となる担保事項ってなる方針が、冒頭宣言のためだけになってるのって、これはどういう整理か。
0:57:57	説明いただけますでしょうか。
0:58:09	場合に本郷イシハラでございますはい。まず要求種別の整理の仕方は、ここで何らか設計をするのであれば、もしくは評価をするのであればということで、
0:58:21	項目を決めました。一つは、
0:58:25	選択する項目が定義が冒頭関原価しかなかったのが冒頭宣言としましたが、言ってることはおっしゃっていただいている通りで、7 以降の評価の前提になってる数字を書いています。これは、

0:58:37	ここで何か設計をしてこの数字を作り上げてるとするのは前提としてこうきますよと。施設の設計の前提では、
0:58:46	そこに対して、インプットの関係になってますよねっていうのをどう整理をして表現するかは、
0:58:53	考えます。はい。冒頭宣言のためという7から79、29から20ですかね、より冒頭宣言のためというか冒頭宣言と言ってる趣旨が評価の前提条件だと。
0:59:06	いうようなことだというのがわかるようにするか、ちょっとやり方を工夫したいと思いますはい。
0:59:14	規制庁日下です。今の話でいうと
0:59:18	今冒頭宣言になってるところの記載を、
0:59:22	資料3なり4なり拾い上げる必要があると。
0:59:26	いうことだと思うので、どういうふうに書いておくと、
0:59:30	確実に資料三、四に入れられるかということだと思ってるんですけど、認識は合ってますか。
0:59:38	はい。日本原燃社でございます。はい。まず項目、条件として抜けがないことそのあとの資料2の展開で抜けがないことというのが
0:59:48	目的だと思っておりますのでそういう意識で整理をしようと思っております。はい。
0:59:53	規制庁保坂ですその時に、どうやればいいというイメージなのか何かあれば、説明いただけますか。
1:00:18	はい、二本木西原でございます。はい。少なくとも資料4に預けるのであれば、フラグを評価にして何、どこの番号の基本設計方針を展開するものの、
1:00:31	前提になっていると、いうようなことでひもづけをしておくのを今、冒頭制御のためと書いてあるところに書くか。
1:00:39	して、フラグを預けると、資料3の場合は構造設計何なりと機能付けてこの前提になってますと、いうようなことを書くかと。
1:00:48	いうことでこの項目を冒頭宣言のためと振らずに、
1:00:55	構造設計等か評価なのか後でディック項目とあわせてエコ設計項目を立てるかですね、その項目の趣旨は何かといえば設計なり評価の前提条件だと。
1:01:09	それをそのまま資料4なり資料3でも使えますよということをここに書いておくと。
1:01:15	いうことかなと思いました。

1:01:17	はい。コサクベツショわかりました。手法としては2種類あるかなと思ってし、質問したんですけど、今の言われたように、冒頭宣言と言わずに、下の方と同じように、
1:01:31	要求種別を整理をしてちゃんと三、四に繋がるようにすると。
1:01:37	ということでその際に
1:01:40	項目番号で関連するところってのを明示することによって、資料3に行った時に分裂していかないと、一緒になって持っていくと
1:01:48	いうことができるっていうことを言われたんだろうなと思ってます。で、
1:01:53	もうもう一つ思ったのは、現状の整理からすると、下に振っているのだから、ちゃんと下で受ける。
1:02:00	下の基本設計方針で書き込むわけにはいかないの、
1:02:07	右側の方で添付書類なり、
1:02:12	設計項目考えたり何なりというようにちゃんと受けて、上で書いたやつをここでは、基本設計方針と詳述してないから、
1:02:23	抱き合わせて書きますということで、ちゃんと拾う。
1:02:27	で、それで拾ってるっていうことを冒頭宣言っていうところでは、
1:02:34	現状、あれ、
1:02:38	現状だと、
1:02:46	藤ナンバー何から何に係る冒頭宣言のためって書くときに、
1:02:52	ちゃんとそっち側で受けてますよね、数字とか必要な事項を明示してますよねと。
1:02:58	いうことを確認するということで、しっかりと振ると、
1:03:02	いうどちらかなと思って聞いたんですけど、
1:03:07	基本は前者で対応するというご説明あったので、
1:03:13	それで
1:03:15	もう結構です。で、一方で、先ほど言った設計なのか廣瀬評価なのか設定なのかっていうので、少し悩まれていたようなんですけど、
1:03:27	ここまでノウヒヒアリングで話題になったものももろもろ含めて、
1:03:32	評価で書かれちゃっているけど設計に振るべきものもあるよねっていうのが結構いっぱいあって、
1:03:39	それをどう入れ込むのかっていうことでもう今の話で、作業量がどうなるのかがよくわかんないなっていう気がするんですけど。
1:03:51	そこら辺の、
1:03:52	対応はどうしますか。

1:04:01	はい。与儀ニシダでございますはい。そうですね。
1:04:10	まず、表 9。
1:04:12	今やっている他のパスでの作業も含めると、今おっしゃっていただいたように、例えば、要求種別が評価要求なんていうところでも、実際設計でやることあるよねっていうところをこの資料 2 の段階でも、
1:04:26	設計項目を展開するときにはしっかりと評価だけではなくて、構造設計等に必要なものを広げていくと。
1:04:34	いうことそれは評価の前提になる、構造設計を展開していくと、いうことをやっている様との関係性も含めて、
1:04:45	先ほどの冒頭宣言と言いながらも、評価なり設計の前提だよねと言っているところの紐づけをしていくと、いうことなんですけど。
1:04:55	同じようなやり方をやった方が、
1:04:58	迷いはない。
1:05:04	そのリンクは構造設計なり評価なりと書いてあってフラグ、設計項目の考え方のところで、そのお互いのリンクを取って整理をするというやり方をしているところも、
1:05:15	そのやり方の、共通性っていうか関連性も含めて、どうやるかは整理をしていくと、あとは、そのオオハシっていうのにあまり影響がないようにということも含めて、
1:05:26	考えたいかなと思いますはい。
1:05:31	はい、古作です。そうですね。振った側で言うと基本設計方針は 1 分であつても、複数の
1:05:41	と要求種別が含まれていますと。
1:05:44	いうことでフラグをそれぞれに立てて、右側の欄に行くと、その項目ごとに、こういうことっていうのを描き分けていって、
1:05:54	ということなので、
1:05:57	そうするとおのずと上で書いても結局下でも同じように変えていかなきゃいけないくて、
1:06:03	重複してくるような気がするので私が先ほど 2 種類や、谷古宇保坂宛と言った方の後者でやった方が、
1:06:11	作業としては
1:06:14	やりやすいんじゃないかなって気もしたんですけど。
1:06:17	一方で、全社でやっておけば
1:06:21	複数箇所に同じことを書かないでもまとめて書けるというメリットがあるかもしれないので、

1:06:29	いずれにしても一つの項目に対して、構造設計なりシステム設計なり評価なりということを書き下していく必要があるというところを認識して対応いただければと思います。
1:06:43	はい。日本原燃志田でございますはい、承知しました。あさ。
1:06:48	前回もあった、同じような項目をいっぱい書いてるねっていうところの整理っていうのもありますし、全体的に考えて、
1:06:57	やり方として整理をしていきたいと思っておりますはい。
1:07:02	はい、古作ですそれで今話のあった、昨日提出能修正が必要な項目で資料2の全般として、
1:07:14	重複している箇所。
1:07:17	について、重複記載を省略枢要修正すると。
1:07:23	ということなんですけど、
1:07:26	どういうイメージでいるのかがちょっとぱっとわからなくてですね。
1:07:32	逆にそのあと資料三、四に行った時にちゃんと拾われるようになるかどうかという心配もあって、
1:07:40	どんなイメージか。
1:07:42	先ほど説明あったかもしれないんですけどちょっと把握しきれなかったんで説明いただけますか。
1:07:47	はい。日本原燃車でございます。食事金迷ってますまだ、
1:07:53	やっていいのかなってところが、やった結果、デメリットも発生しそうな気がしていろんなパターンを今作ってもらっているところです。
1:08:04	どこがいいかな。
1:08:07	あれこの間行ったページ何ページだっけ。
1:08:19	磯須賀にいるように161ページみたいな構造評価構造設計評価コード平均評価って書いてるところを、
1:08:25	ジョイントするのは無理だよな。
1:08:29	やったのは構造設計だけがずっと並んでるページとか評価だけがずっと並んでるPC。
1:08:43	すいません。はい。弓削志田でございますが、今、
1:08:48	例えばっていう例示をどう出すかですけど、
1:08:55	どこがいいかな。
1:08:57	みんな似たような記載だな。
1:09:00	古作です。先ほど言われて161ページ妥当。
1:09:05	設計説明分類が縦にバーッと並んでいるけど、

1:09:11	横、右側に書いてあるのは結局全部同じものが弁vent張られていると。
1:09:18	いう状態になって、わざわざ分ける必要があんまないんですけどねっという。
1:09:25	ことでしたかね。
1:09:28	はい。ここ、とはいえ小野瀬、
1:09:33	説明グループの考え方を、結局書かなきゃいけないと言いながらもここで色を分けていく代表との関係性を描きながらってところがあって、
1:09:43	結局その左にある設計項目の考え方のところは、構造設計評価構造設計評価って書いてることが同じなので、
1:09:51	逆に言うと何番の記載と同じっていうことを繰り返したかっていうことぐらいですかね。いや、どうしても、
1:10:02	セルを合体した項目消えてしまう必要も駄目だなという気がしますし、
1:10:07	右側の設置名グループでは一応色をつけながらどれが代表で、代表になる理由が何か。
1:10:13	代表に預けられる代表以外の者は代表に預けられる根拠は何かというようなことを書き下していかなきゃいけないところがあるので、
1:10:21	間違いはないとすると、この設計項目の考え方の欄が、暫時記載の場合は、上記と同じなのか何番と同じと書くかと。
1:10:30	いうぐらいしか手がないかなと思ってました。はい。
1:10:37	はい。コサクです。そうだろうなとは思うん。
1:10:43	結局あれですよ。このページなんかで言うと、方針としては一体になってる中に幾つか類型があり得ると。
1:10:52	いうゴトウ或いは
1:10:57	いくつか枝葉があり得ることなので多少書き分けなきゃいけないんだけど、基本一緒なんできていうようなことかなと思うので、
1:11:08	なるべく、
1:11:11	同様のものは同様な。
1:11:14	枠で明示的に書かれて、そこは一緒ですと、違いはこうですっていうようなことがわかるように、
1:11:23	この説明グループの考え方なり設計項目の考え方なり、
1:11:29	久Eの仕方っていうのを工夫されるということかなあとは思います。ちゃんと読み込んであれば、その説明分類の説明の際にですね、
1:11:41	留意するっていうことは明確になるんじゃない
1:11:45	ます。

1:11:46	同じっていうのであれば、
1:11:49	代表説明でちゃんと交換できるかと。
1:11:52	いうことの、資料 3 なり 4 なりでの説明の際に
1:11:58	その集合体さんと、
1:12:00	カバーできてるかっていうのを見ていくということだと思っんで、枝葉があるっていうものは明確にさせていただいて、明確にされれば、資料三、四でフォローができる。
1:12:10	ということだと思いますからよろしくお願いします。
1:12:15	はい、二本木西田でございますはい。ありがとうございます承知いたしました。
1:12:30	はい。
1:12:31	院長山口です。
1:12:35	続いてちょっと諭す際、
1:12:38	よろしいですね、と廃棄施設に関して確認です。210 ページから廃棄施設、
1:12:45	決まると思っんですけども、
1:12:48	すいませんまず基本的な、
1:12:50	記載の規則的なところで私の認識ずれていったらあれなんですけど、111 ページの、
1:12:56	廃棄施設の項目番号 4 番で、
1:13:01	ここは東京石油方針は
1:13:04	燃料加工建屋に収納する設計とするっていう枠なんですけども、ここについて、また設計説明分類の欄にいくと、
1:13:14	燃料A加工だけについての記載であるためっていうことで、
1:13:20	展開がないんですけど、
1:13:22	廃棄の条文は第 1 回は申請対象外。
1:13:28	となつて基本設計方針も申請されてなかったと思っんですけども、この
1:13:36	認可についての記載も駄目で展開されてないこの整理ってどういう。
1:13:41	整理か説明いただけますか。
1:13:44	はい。宮城の石原でございます。まず基本設計方針の中でですね第 1 回で建物を出しました。基本設計方針建物以外の設備に関するものでどこまで記載をするかと。

1:13:58	ということで、第1回的には、基本設計方針の中に各設備の建屋に終了するということだけを、基本設計方針として書いて、認可をいただいているという状態になりますその時に、
1:14:11	設計としては建屋に収納されてますよということが工学、
1:14:16	設計の方針一番トップバッターの方針ですというようなことで整理をさせていただいたところでございます。
1:14:23	特にこの建屋に収納するということについて、今回改めて何か説明することがあると言われるとは一目配置図も含めて第1回で一応全体を、
1:14:32	お示してありますので、第2回で改めて説明することはないということでここ、バーにして、
1:14:39	今回対象にしなかったということでございます。
1:14:42	はい。きちんとヤマグチ数も、
1:14:45	建屋の中に入れるってということを見て、今回その廃棄条文として設計としてね、それを後展開していくものはないから、この時点でもババで、
1:14:56	完結してるってということで整理は理解しました。コサクですけど、
1:15:05	第1回はあくまで方針であって、
1:15:08	今回ようやく配置が確定するということだと理解をしていたんですけどそうじゃないんです。
1:15:25	はい、宮城西浦でございます。
1:15:30	私もどうだったかなという思いでは、しゃべってますけど、方針として当然ここまでは語るよねというやりとりをして方針は認可をいただきました。
1:15:42	そうですね具体の配置をどうするんだってところは
1:15:48	そういう話でしたよね。
1:15:51	はい。私もずっとじゃないですね。はい。配置をちょっと変更したいってなったら第1回の申請分の変更だとかってという話が出てきちゃうんですよ。
1:16:00	そんな面倒くさい手続きすんのかっていうとそうじゃないと思うんで、あくまで第1回は方針であって、
1:16:08	具体配置設計は順々に確定させるということだと思いますから、ここで説明しないってということではないんじゃないかなと思います。
1:16:19	各分類の中でその配置設計としての図面を提示いただくと。
1:16:24	いうこ等で整理をいただきたいというところですよ。
1:16:31	はい。日本原燃正田でございます承知いたしました。

1:16:36	規制庁山口です。よろしくお願いします。
1:16:40	等、私の方から最後の資料に関してと 212 ページの、
1:16:47	廃棄施設の項目番号 9、
1:16:55	212、項目番号 9 ですね、このようなその系統を認識するフィルター類はもう他の条文であれば設置要求としても分類されて配置設計等で示されてるんですけど、
1:17:09	例えばここでのフィルターの配置っていうのはどのように示す方針なのか。
1:17:17	いかがでしょうか。
1:17:38	はい、与儀西原でございます。今更ながら恐縮でございますが、第 1 回で、
1:17:44	対象になってなかったんでまだ甘いですね。要求種別の設定が、
1:17:49	まず単純に冒頭宣言が多すぎるということだと思います
1:17:54	廃棄施設として見ると外へ放出するものが、可能な限り放射性物質が除去され、影響がない、今日限りなく低くすると。
1:18:06	ということが設計の大前提になりますそのための系統設計として、
1:18:12	ビルダーをどういうふうに配置をするかとかですね、配布との関係と設定するかと。
1:18:18	というようなことも、廃棄施設としては、設計としては語らなきゃいけない範囲だと思いますので、
1:18:25	そうすると多分同等線源の範囲が広すぎて、これらとほとんど同等線源で、
1:18:33	になっているので、これがそもそもおかしいということだと思います。はい。
1:18:38	さすがに今 12 番で全部思ってますと言うには、余りにも乱暴なのでちょっと要求種別の整理も含めてここはさらに整理を進める必要があると。
1:18:48	思いますはい。
1:18:50	はい。
1:18:51	よろしくお願いします。山口ですよろしくお願いします。あとコサクですけど今の関係も、先ほどの話に通じるかなと思うんですが、今、
1:19:01	今だけの話だとこれ単品での確認作業になるような感じがするんですけど、全体通じて冒頭宣言って言うところがちゃんとその後ろで、
1:19:11	漏れなく拾われているのかというチェックをすべてにやってください。
1:19:17	そういうお約束だったはずなんですけどやられてないっていう実績がいっぱい今出てきてると。

1:19:22	ということだと思うので、それを見て、広井、
1:19:27	切れてないものはちゃんとその部分で上げるってということなのか、下で拾えるように、更新を追加するということなのか、よく考えて提示していただきたいと思います。
1:19:41	はい。日本原燃石田でございますはい、承知いたしました。
1:19:47	7 ヤマガチです他と資料 2 で規制庁側から確認ありますでしょうか。
1:20:02	よろしければ、
1:20:05	続いて資料 3 ですね、衛藤原燃から説明をお願いします。
1:20:13	はい。日本原燃石原でございます。はい。資料 3、248 ページからですが、
1:20:22	249 ページ、これがMOXの第 2 回として設計説明分類で対象になるもの項目、16 項目挙げております。
1:20:34	その中で説明グループ 1 で関係するものというのを、
1:20:40	今回その後ろに順次つけているということでございます対象は(1)番(3)番、(6)番。
1:20:47	(9)番になります。
1:20:51	それ以外の説明グループ 2 行で順次、提示をさせていただくということでございます。
1:20:56	251 ページからってこういった目次をそれぞれタイトルが、250 ページ(1)番の資料 3 ですよ。
1:21:06	ということ。それに対して 251 ページこの中の内訳が何が入っているかということで大きく設備設計構造設計配置設計の項目に分けて、
1:21:17	今回の対象になるものっていうのを対象にそのあと順次つけていますと。
1:21:22	ということにしています。
1:21:25	グローブボックスは、対象が今回構造設計と配置設計かなが対象になっているということで、そのあとに、
1:21:34	構造設計に係る詳細設計展開表、①と言っているものですねこれが 253 ページ後ついていくということで整理をさせていただいてございます。
1:21:45	資料 3 は、以前からもお話しますが
1:21:51	基本設計方針添付書類の記載、仕様表項目、設計分類、設計分類、設計項目に直さなきゃね。
1:22:00	もう設計分類は設計項目の言葉も直しておきますが、

1:22:04	先ほどの資料 2 でかけた設計項目を展開をするとそのうちでここは構造設計ですので構造設計に関する設計項目が従事具体の構造設計をそのあと展開をしますということで、その右の番ですね書かれていくと。
1:22:18	いうこと。
1:22:20	添付書員とかの関係と構造設計の段がリンクがわかるように、バル番号をつけて展開をするというのと、
1:22:29	すべて下線を引いている方がこの右側に展開する対象ということで、添付書類が書いてるんですが、
1:22:37	すべてに下線が引かなくて残る場合は、それについてはどここの機種設計方針で展開をしますと、他の説明グループ、設計項目か、設計説明文連
1:22:47	に展開されるものもありますんでそういったリンクを図るといようなことも整理をしています。
1:22:54	いうこと、あとは県民からの変更点がある場合は、議員からの変更点の欄に関する資料の番号を付して展開で伸ばしていくと。
1:23:03	いうこととあと他条文の設計とのリンクがあるときもまた条文の要求との関係というところに、
1:23:10	条文の基本設計節の番号とその中の何番のを、
1:23:15	設計方針がどれに該当するかと、リンクするのかというようなことの彦付けをする。
1:23:21	あと資料番号と書いてあるのはそのあとに資料 3-②、詳細説明する図がきますのでその図との関係を示すということで整理をさせていただきます。
1:23:32	はい。
1:23:35	こちらも、(1) 番のグローブボックスのチームは、これまでのやりとりも含めてそれなりに、
1:23:45	拡充をしてきてると思ってるんですが、
1:23:49	先ほどの例にもれず、PAC3 換気設備、(6)、機械装置搬送装置ですかね(9)のラックピット棚
1:24:00	記載がまだまだ足りてないと思ってます。
1:24:04	修正が必要な項目にも書かせていただきましたが、まだ、
1:24:10	設計になりきってないって言うんですかね、フワッと書いてるだけになってるところがいくつかあって、マイク使ってほとんどそうなんです、

1:24:18	例えば 335 ページみたいなものは、22 条の換気設備の 20、23 行換気設備、23 条の 2 番という項目が、
1:24:28	ありますと、設備の構成を変えています。
1:24:32	設計のシステム設計として、この基本設計方針の要求を踏まえて、どういう設計をしますかと。
1:24:41	いうことを書かないといけないんですが、今書いてあることは、
1:24:45	当たり前のことでございます。これは設計というよりは目的を書いているにすぎない。
1:24:52	ということですね。こういう目的を達成するためにこの構造、
1:24:57	基本設計方針でいう換気設備を三つの設備に分けて構成している、設計のコンセプトをちゃんと書いてくれないといけないと思ってまして。
1:25:07	基本は、汚染の区分に応じてどこ、それぞれ区切れるように、換気設備を三つ設けますと。
1:25:14	当然汚染区分が一番
1:25:19	高いところは、グローボックス排気設備、
1:25:22	グローボックスから漏れ出した抗生物質なんかをキャッチアップするために作っている工程室みたいなものは、その次の段階として、レベルが変わりますので工程室排気設備とつなぐ、
1:25:35	それ以外のところが、汚染のレベルが一番低いという意味で、建屋換気設備につなぐ。
1:25:41	当然この三つの換気設備を動かすことによってそれぞれの汚染区分の境界を、空気の流れで作っていくと。
1:25:48	というのが、設計の考え方ですので、そういったことを
1:25:53	このシステム設計のところに書いて欲しいなというのが思いではあるんですがまだそこまで生きてないというようなことです。
1:25:59	例えばの例を続きますと、
1:26:04	そこだっけな。
1:26:08	23-3 というのが、
1:26:13	200335 ページがついてますが 336 ページで、
1:26:20	どこだ、違うの。
1:26:31	あれ。
1:26:34	あれ窒素循環等、窒素と、空気の雰囲気分けてるってどこに書いてたっけ。
1:26:47	サンゴだっけ。
1:26:57	そうか、書いてないんだそう。

1:27:03	そうですね。
1:27:05	この、
1:27:08	特に 23-3 とかがいきなり負圧の設計とかでしか展開できてなかったりするところはこれはもともと、
1:27:16	MOX燃料加工施設の特徴からいきますと、グローブボックスっていうのが、空気雰囲気、窒素雰囲気それぞれ、グローブボックスを開けて設計をしています。これがなぜ、
1:27:28	分けてどっかは、製品の品質管理も含めて、窒素雰囲気にしとかなきゃいけないグローブボックスがあったりするんで、そういうやつは窒素雰囲気にする。それ以外のものは空気雰囲気と、
1:27:39	当然ながらこれ境界が当然出てきますので、その境界のところの管理も含めて、
1:27:45	窒素雰囲気に空気の流入がなるべく、窒素雰囲気のグローブボックスと空気雰囲気のグローブボックスが隣接する場合は、
1:27:53	あそこのトラスはあんまりないように影響がない、ぶら下がって影響がないように、窒素循環設備を設けた地質循環型と地質を管理、一方向にしか流さないようなグローブボックスを、
1:28:06	2種類設けてそういうことを配置をすることによって、
1:28:10	窒素雰囲気、空気雰囲気のグローブボックスがそれぞれちゃんと整理するように、検討しますよみたいなことも含めて全体、
1:28:19	それと換気のセットの仕方みたいなものを、システム設計側には書いて欲しいというところがあってですねそういった
1:28:26	せっかくやらなきゃいけないことをちゃんと書きなさいというところがまだできてないというふうに思ってます。換気設備でいくとそういうところがまずちゃんと書けてないなというところはやっぱり、
1:28:38	工場設計、今度メンテナンスで補修するときに、グローブボックスの中に排風機の系統についてフィルターの交換を、ユニットでガラッと交換しますよっていうのが、みたいなことが書いてあるんですけど。
1:28:51	できる切り離して、何か電源ができてそのラインが単独で復習できるから、ウォーターがそういう交換方法にできるということでシステム設計ってそういうバブルを、
1:29:04	てもらわないと構造設計との繋がりがなかったりですねそういったところの、

1:29:08	要はをちゃんと考えて、設計を変えて欲しいというのが、今私から言い出してる要求でございますが、これは1個ずつ、整理をしていかないといけない、その考え方を整理をしていくんだと思ってます。
1:29:22	一般局長が全然、
1:29:30	アトピーいをして、そういった展開をしていくということが必要だと思ってます。
1:29:38	(6)番の機械装置搬送装置も同じでございます。これの理事を言いますと、
1:29:47	構造設計が472ページから始まってますが、
1:29:52	474ページの一番トップバッターが出てくる16条の1、これもう、
1:30:00	これじゃねえな、したことが、
1:30:05	違いましたすいません。
1:30:07	475ページですね、16条の4番。
1:30:12	これも構造設計に書いてあることって、破損防止で燃料棒を発する搬送設備は、仮にや燃料棒が落下しても破損した高さにて取り扱う構造とすると。
1:30:23	こう書かれても、実際どういう設計をしているのかさっぱりわからなくてですね、多分手段は幾つかあるんですけど、設備の高さがそもそも4メートルしかない。だから当然取り扱うのは4メートル以下でしょっていうような構造で担保しようとしてるものとか、
1:30:38	まあ、あの上下つり上げ売先をするときの機構2のインターロックをつけて、何メートルでわからないようにしますとかっていろんな設計があると思うので、そういうところをしっかりと構造設計として書いて欲しいと。
1:30:51	というのが今こちらから出してやりとりをしてるやりとりでございますまだそういう時、
1:30:57	生きてない。
1:30:59	ところが、幾つかとかいうか全体的にそうだということですね、という部分があると。
1:31:05	ということでございます。はい。
1:31:09	括弧ゲーム、9番のラックピット頼む。しかりでございます。はい。これを見てどういう設計なのかわかるかと。
1:31:17	結果しかないぐらいのところ、
1:31:20	ラックピット他の508ページに、十七条の21番があります空気が滞留しない構造。

1:31:31	空気が対流制度通り抜けることができる設計って一体どんな設計ですかと聞いてしまうぐらいの中身なので、
1:31:39	単純にこれまず、連携がとれてないのが、換気設備の設計とのリンクなのかな閉じ込めとのリンク仮ですけど、
1:31:49	給気口排気孔がどういうふうに取りつけられるかと、いうことと、
1:31:54	貯蔵設備のラックなんかに置いてある、核燃料物質からの崩壊熱との関係で空気が、
1:32:03	どういうふうに温められて流れていくかという、空気の流れと、
1:32:08	実際構造上どういうところを担保しなきゃいけないかっていうところがミックスして多分この設計を書かなきゃいけないと思ってましてそういうリンクも含めて、
1:32:17	まだ設計は整理できてない。
1:32:19	いうところだと思ってます。実際は廃棄給気口グローボックスなりの上につけて、給気口から空気が流れてきたものがそのままラックピットの下に行って、
1:32:31	温められた空気が上に上がってきて廃止効果が排出されるという構造、担保しなきゃいけないのはこの空気の流路を妨げるなど。
1:32:40	ヤマモトを行うと、流量を必ず開けるということがまず設計上の約束事だと思ってましてそういったことをちゃんと構造設計上、あとはその流量をどのぐらい設ければいいのかというようなことだと思ってましてそういうことを構造設計で書かなきゃいけないんだよと。
1:32:56	というようなことをやりとりしているところでございます。はい。
1:33:00	はい全体的にちょっと記載が甘くて、説明するぐらいなところなので、ちょっとこういうふうに作業を今進めていると、というような状況の様でございましたら説明あります。
1:33:14	はい。
1:33:14	関ヤマグチです。
1:33:16	資料3について、
1:33:22	年齢粹駄目なのに、ちょっと言わない。
1:33:28	はい。すいません規制庁コサクです。
1:33:32	拡充しなきゃいけないポイントわあ、ご説明いただいた通り、
1:33:38	いいと思うんですけど、
1:33:40	言われたことって昨日提出のあった修正が必要な項目にもある程度書かれているので、
1:33:48	いいんですけど、

1:33:50	言われたこと、もう随分前からこういうことを説明しますって言ったと思うんですけど。
1:33:56	なんで、
1:33:58	入ってこないんですかね。
1:34:03	はい。
1:34:05	すいません。何で行って私も聞きたいんですけど。はい。なんでこうなったんでしょって話ですけどそういうことじゃ駄目だと思ったんでね。そうならないような作業の仕組みがいらんなりをつけたかってところを今一度、
1:34:19	反省して直していくのかなと思ってました。はい。
1:34:23	おっしゃっていただいたように私ヒアリングでは直さなきゃいけないポイントだったり、こうしたいというポイントはことごとく口で言ってるつもりです毎回、
1:34:34	それを言うことによって、伝えたいということで、
1:34:40	どうしたいかの意思表示をしてきたつもりで当然文字起こしをすれば、何を言ったかは明らかではあります。
1:34:48	それを具体的に認識をして反映をしてもらうと。
1:34:52	いうことの作業にちゃんと展開をすることが必要なんだと、そういうふうにさせるということが私は必要だしそのチェックをするということだと思うんですけど。
1:35:04	何ですかね。
1:35:06	それがうまく回ってないのが現状だと思いますはい。
1:35:09	はい。コサクです。それを回す、言われた仕組みをですっきりと作る。それを各要員が認識をするってということが大事なんだと思うんですよ。
1:35:20	一つ一つ医者さんがここで説明したことをまた新たに指示をし、文書化しとかっていうのは、1人でやる作業量ではないんで、
1:35:30	それをいかに他の人ができるようになるかで、伊澤さんがチェックというところに注力できるかっていうことにかかっているんだと思うので、
1:35:40	サポーターなりエンジンチーム、もう、
1:35:44	裏で裏というか横というか、聞いていたり、対応してると思うんで、
1:35:50	ただいるんじゃないかってそういうことのためにいて、今作業をまさにしなきゃいけない時間なんだと。
1:35:57	いうことを意識しなさい。
1:36:01	とてもじゃないけど石原さんと仕事をするだけの、

1:36:05	業務になってないと、いうことだと思うんですね。
1:36:09	そこはよく考えていただきたいと言う古藤と、
1:36:14	さらに、
1:36:18	話題を広げると、先ほどと同じですけど、他の設備分、設計切せ、
1:36:26	経営説明分類の人たち、
1:36:29	にも展開しなきゃいけないということなので、その点でちゃんと整理する 枠ができてるかっていうこと等を整理しなきゃいけないと思うんですけ ど。
1:36:40	まず、換気設備で言われていた安全設計じゃない部分。
1:36:46	生産系での要求事項を踏まえた設計でその設計に対して、安全の配慮 もしていくと。
1:36:54	いう関係からする等、事業者という意味では、生産系の設計がまずあつ て、そこに安全系が横やりしてくるっていうことだと思うんですよ、実際の 設計のプロセスって。
1:37:07	そうすると、生産系の設計ってのがどこで示されるの、どこでここ入って くるのっていうことがあると思うんですけど。
1:37:15	許可の安全設計だけから来ちゃってるんで、そこがなくて、展開がし きれない内容がわかってる石原さんは当然と思っているから、
1:37:25	ここにそういうのがあるんじゃないのって思えるけど、
1:37:29	大本で設計に変わっていない。
1:37:32	後から、
1:37:35	タスクに参加してる人はよくわかってないってことなんじゃないかな と思うんです。
1:37:40	そうすると、その部分を表す枠を作りそこを埋めていくっていう作業を しないと、スタートしないと思うんですけど、そこはどう考えてますか。
1:37:54	はい。人間ネシアでございます。はい。何て言うんでしょうねこれー。
1:38:00	システム設計構造設計、単品では当然なくてひもづきますし、かつ、こ の設計を書くときに何らか前提が何かあるんじゃないのかと。
1:38:14	いうことを疑って考えると、例えば先ほどおっしゃっていただいたように 355 ページの 23 条の 3、これを説明するのに、
1:38:26	何らかひも付で生産設計の前提みたいのを、1 課上でそのリンクを含め て安全設計の設計を語ると。
1:38:35	いうときに、左が見ても一緒にこないわけですね、項目は、
1:38:41	それを、システム設計なりんとこで欄を分けて、市右左で言ってるし先生 基本設計方針の前提になってる清さん。

1:38:52	上の配慮みたいな設計を変えて、
1:38:55	それを前提にこういう設計にしていますよという臨港を取るかですね、書かないと、どこで出てくるかもわからないので、
1:39:04	基本設計方針チェックにして、前提条件になってるようなことを書きながら、紐づけをしていくと。
1:39:12	いうこともそれを多分、
1:39:15	言うともたみんなから批判を受けそうですけど個別補足説明資料でちゃんと説明するんやろうなという気はしています。はい。
1:39:23	うん。
1:39:27	規制庁コサクですそうですね。明日必要でしょうね。
1:39:31	今言われたように、安全設計の
1:39:36	前提になってる設計方針だと思うので、言われたようにその安全設計の
1:39:42	大枠のところでは前提として右側の欄に埋め込んでいって、それを踏まえた部隊というのを、その下側の項目の中で部隊展開していくっていうことなんじゃないかなあと。
1:39:56	いうふうには思います。ちょっと今回、
1:40:01	窒素雰囲気なり何なりってのは例示だと思うんで、どこでどういうふうに書いて展開していくのかです、いうことを整理いただくと、水平展開もしやすいんじゃないのかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:40:15	はい。弓削イシハラでございます承知いたしました。
1:40:20	はい、古作です。で、もう一つ、換気設備で話し合ったのはフィルターなりの保守を踏まえた設計と、
1:40:31	特にシステム設計的なところでお話あったと思うんですけど、
1:40:35	それもう保守としては方針はうたわれているけど、
1:40:40	バスケットクローズ的に書いてあってここどういう保守をとるところまで展開されていないので、それを展開しなきゃいけないと。
1:40:49	ということだと思うんですけど。
1:40:51	そういったものは、資料2ではどういう配慮をC資料3に展開するかとかっていうのは、何か整理されてますか。
1:41:01	はい。水井西原でございますはい。一つは今、資料3からさかのぼるしかないと思うんですけど、
1:41:10	資料3の構造、資料2の段階で最初、構造設計を説明すればいいとして資料3に来たときに、

1:41:17	その構造設計を説明する上で先ほどの生産系じゃないですけど、前提になってるようなシステム設計があるのであれば、それをちゃんと起こした上で資料に1回戻って、
1:41:27	同じ事業設計方針からシステム設計を構造設計とついで起こして、そのリンクを図るということも含めて、手当をして、もう1回資料3に戻ってくると、ということが要るんじゃないかなと。
1:41:41	それが、
1:41:43	あとは築けるかってところありますけどチェックをしないとイケないなと。
1:41:49	単純に入れた
1:41:52	交換しますと、
1:41:54	言ってそのやり方も変えてはいるんですけど、じゃあこのやり方が成立する条件でシステムとして何かあるんじゃないのかみたいなことを見に行って、資料2にもさかのぼってフィードをかけると。
1:42:06	ということかなと思ってました。はい。
1:42:09	草場です。資料2に戻るときにですね、保守性ってということだとすれば、極論言えば、安全機能を有する施設の全体要求としての補修要求
1:42:22	の部分になるんだと思うんですけど、
1:42:27	そことリンクを貼る形でまとめていくということで行くのか、ここに書き下していくということなのか。
1:42:38	どうされますか。
1:42:41	はい。弓削ニシダでございます。私のイメージはここにということで例えばもともとはフィルターの交換、
1:42:52	交換できる設計みたいなことが例えば基本設計をしに帰って、構造、書いてあって構造設計で一体は資料2では紐づけて、資料3に来たはいいけども、
1:43:03	具体の設計を書き始めたら、これシステム設計とついてないと説明できないねと言ったら、
1:43:09	資料2に戻って同じ事業設計方針からシステム設計も含めて発生させて、項目2本立てにしてもう1回イセ資料3に戻ってくると、というようなことをイメージしてしゃべってました。
1:43:24	得策です。とりあえず
1:43:28	作業していただいたらと思うんですけど、最終的には全体としての補修性の確保の方策がどういうパターンがあって、
1:43:39	それぞれどう当てはめているのか。

1:43:42	それによって全体整合して対応とれてるのかっていうことをお話をしていただく必要があるかなと思いますので、そういったところに最終的には集約していく必要があるということを認識しておいていただければと思います。
1:43:59	はい、泉谷でございます。はい。おっしゃっていただいているところだと思いますので16条だっけ、一番。
1:44:09	第14条の安全機能を有する施設の安全機能を有する施設の補修性の話。これ全体他でも、逆に言うと保守性が特出していただくのは、逆にとか技術微粒たとか保守をあらかじめ設計上、
1:44:24	特記して書いてるところでしっかりぐらいしかないと炉全体を包含してみるのは安全機能を優先してこの条文だと思ってますので、
1:44:32	メーカーに対する報酬性の確保の前提と、この個別で書いていることの、
1:44:39	関係ですね、っていうふうなことも、整理をした上で、受純度で別々必要があるというのは認識をします。
1:44:53	はい。得策です。
1:44:59	あとは、
1:45:03	搬送設備なりラックピットだったりして、
1:45:07	お話いただいてたやつについては、
1:45:11	これはここ考えればオノ図等入るぐらいの話で、
1:45:18	ここまでお話したような、何か作業プロセスとして、抜けがあるから拾い切れなかったんじゃないのかと。
1:45:25	いうほどでもないとは思んですけど、
1:45:30	一番最初にお話したように、
1:45:33	対応していかなきゃいけないことを今後も同じように考えていかなきゃいけないことっていうのをピックアップした際に、本件でも何か展開をすべきことがあると。
1:45:43	いうことであれば、挙げていただいて次回のヒアリングで説明いただければ
1:45:50	はい。二本木ニシウラでございますはい。集計いたしました。はい。
1:45:59	規制庁山口です。
1:46:01	年予算について。
1:46:06	今のお話で整理がされると思うんであまり細かい話は、
1:46:11	多いと思うんですけどちょっとおっきなおっきなというか、
1:46:16	2点ほど確認したいんですけども。

1:46:22	275 ページから、目次。
1:46:27	少しですね目次があると思うんですけども、
1:46:30	例えばその 275 ページのその枠の外に、※1※2 っていうことで、別なグループで説明を行う関連条文については、
1:46:41	また下のサトウの枠で注釈で溢水と火災っていうか、書かれてるものもあるんですけども他にも、
1:46:49	このグループ 1 でいくと臨界遮へいとかもあると思うんですけども、
1:46:53	そういう何かここに、里他のグループで説明を行うものについて注釈で書いているのと書いてないものの整理って何かどういう、
1:47:02	感じで整理されてるのか。
1:47:04	聞かせたい。
1:47:06	確認できますでしょうか。
1:47:23	はい、日本イシハラでございますはいこれも先ほどの説明グループの設定の考え方を本文で、整理をしますといったもの今現状、ここで書いてあるのは、
1:47:36	他のグループに設計上、引き渡しますよといったようなことで書いた項目でリンクを図ってまして、
1:47:45	まずはそこで抜け漏れがないかというチェックをするということだと思いますのでそういう形で整理を進めていければと思ってました。はい。
1:47:55	はい。
1:47:56	7 ヤマグチシマ今回、担保せずに、ベッパ後のグループでっていう担保するゴトウっていうのは重要ですので
1:48:06	もうあげられるのは安全であれば漏れなく記載が必要だと思いますし、その辺り整理をお願いします。
1:48:15	あと全般的なところで、構造の図で、
1:48:19	前から少しやってると思うんですけど、例えば 282 ページで、
1:48:25	緑の枠はこの枠が結局どこを指してるのかっていうのがわかりたいわかりにくいので、そういうのはちゃんと明確にしていきたいなと思ってて 282 ページ。
1:48:37	その上で、漏えいしがたい構造、負圧維持って結局どこなのかってどこを指してるのかわかりにくいので、この辺り全体的に整理いただければと思うので、お願いします。
1:48:49	はい、二本木西尾でございます。ありがとうございますはいまず矢印アノセンヨウ飛ばす常盤線の先で、何を対象にこの設計を行っているかと。

1:49:00	いうことをわかりやすく、整理をさせていただきます。あとは 282 ページの一番上の記載みたいに全体を囲っているのは、
1:49:11	逆に言うと、全体を囲ってそこに矢印を飛ばすっていう形になってしまうものもありますし、
1:49:18	あとはグローブボックスの 2 番目ですかね、は多分アノ接続、他のものが接続している箇所とのとりあえず、だと思いますので、
1:49:28	今神田委員ところに線ひいてますけど神田イトウグローボックスの境界のところを飛ばしてこの部分のことを言ってるよとか、いうのがわかるように、整理をしていければと思います。はい。
1:49:42	はいすいませんコサクです。このページで言うと、
1:49:46	一番上 2、
1:49:48	の枠だと三行目 2、
1:49:52	負圧維持のため、給気口は移行消火に必要となる。
1:49:59	そうか、配管等の管台、
1:50:02	運転に必要となるコネクタ部等を取りつける構造って、
1:50:07	言ってるんですけど。
1:50:09	どれですか。
1:50:11	どれがどれだ。
1:50:13	半田委員。
1:50:15	はい。読みニシダでございます。まず、管台って書いてるのが 1 個しかないという、これが
1:50:22	ざっと全体わかるような図をつけなきゃいけないでしょうね大分ポンチ絵化してしまったので、本当はこの管台と書いてあるものが、廃棄恒久機構であったり、消火配管が入る管台だったり、
1:50:36	あとコネクタ部っていうのは右側ですかねこれ自体は刺されるところのボックスが書いてあるんですけど、このコネクタのところに、
1:50:46	ゲームなんかが多分刺さるポイントだと思うのでそういったことがわかるように、図も、
1:50:54	ずっとおっしゃった結構ね、
1:50:59	これをちょっと工夫すると。
1:51:03	どう、
1:51:04	作品をやってるか。はい。
1:51:08	ちょっと図の方も上に書いてある文章との関係、この後も同じようなものが出てきてリンクを張らなきゃいけないところもあるので、この図自体の、ちょっとブラッシュアップも含めてやりたいと思います。

1:51:22	はい。補足ですよろしくお願いします。先ほど吸気背景の話は話があったところで、
1:51:31	一つ前のページだと吸気排気はわかるんですけど、一番最初の枠は今の程度しか書いてないのでちょっと何でこういうふうにつけてるのがわかんないみたいなことがあるから、
1:51:43	先ほどの部分、説明された部分は、少し何らか触れていただくということかなと思うんですけど、対応して次のページの今あった、
1:51:54	のも、神田一つだと、そういった点がフォローできないと思うので、最低限、
1:52:01	話を通じるような程度は変えていただく必要があろうかな。
1:52:05	いうふうに思います。
1:52:10	はい。日本原燃石原でございますはい。承知いたしました。頑張ります。はい。ちょっとマスクングしないようにとって差し替えた時にあまりそんなところまで考えてなかったところもあるので。はい。
1:52:22	設計方針の繋がり含めて、改造したいと思います。
1:52:29	補足です。今話のあったところなので、追加で確認なんですけど、グローボックスの資料3、
1:52:40	構造設計については、今言っていたように、小アノ会合で説明ができるように、マスクングをなるべくしないポンチ絵にして作って、
1:52:52	できた。
1:52:53	ということで大分わかりやすくなったなあと思うんです。その際に、ちょっと配慮が不足した部分というのは、拡充を少し検討いただくってことだと今理解をしているんですけど。
1:53:04	この次の、
1:53:08	通し 317 ページからですね、表紙で言えば 316 ページの③既認可からの変更点と、
1:53:17	いった資料になる等、
1:53:20	従前通り、
1:53:27	設計図面をただ貼ってって感じになってるんですけど、ここはどうするつもりですか。
1:53:44	はい、日本ネシアでございますはい哲学で恐縮でございます金委員からの変更点もいくつか。
1:53:54	そうですね、審査会を含めて説明していかないといけないという気もします。
1:54:01	ちょっと図を工夫します。暇他の換気設備を含めた一連のやつで、

1:54:09	頑張っはいるんですけど、まだ全部が全部手がついてないところがありますので、
1:54:15	ちょっと考えますはい。
1:54:20	はい。
1:54:22	県がコサクです検討をお願いします。その点では、
1:54:29	介護資料でつけるもの等、
1:54:34	補足説明資料一式と多少抜粋があつたりするのは、構わないのかなと思いますんで、
1:54:42	対応関係だけつけて、
1:54:46	いれればいいんだと思います。いろいろと検討いただいて
1:54:52	非公開になってシママスクングが多いというものを、
1:54:57	無意味 2、ポンチ絵全部作ってって言う必要もないとは思んですけど、介護資料として説明できるだけのものは、
1:55:08	マスクングじゃないように作っていただいてということかと思います。少し整理をしていただければ、
1:55:16	お願いし、
1:55:16	はい、乳井の石田でございますはい。おっしゃっていただいている趣旨で、もともとそうですねを考慮しておりますちょっと作業として、あと資料③は完全頭から、
1:55:29	抜けてたんで急ぎピックアップしてやらせますが
1:55:33	グローブボックスの今回グループ 1 の説明するにあたって審査会合で例えばグローブボックスの設計との品文字関係性が強い。
1:55:44	換気設備のシステム設計、あとグローブボックス自体の破損を防止するという事態での閉じ込めとの関係での機械装置搬送装置の
1:55:54	関係ですね、の部分というのをピックアップしてその関係性をし、説明をできるように、こういうところに意識して、構造設計なりシステム設計を整理しているんですけどいう。
1:56:06	説明ができるような組み合わせで、今ついている 3-02 とかの図を公開できるような図に直していくという作業を今してもらってますので、
1:56:19	先ほどの資料 3 の②、③ですね、もう、そういった観点でどういう変更点をピックアップして、
1:56:27	資料 3 の②とのリンクも含めてどう整理しているのかと、ということがわかるようなポイントをピックアップしてマスクングじゃないような図に差し替えるというようなことを検討していきたいと思ますはい。

1:56:41	はい。コサクですよろしく申し上げます。同じ観点D-3の配置設計なんですけど、
1:56:50	これもう、②の方の資料が、図面のところが丸々マスキングになっていて、
1:56:59	ある意味しょうがないなって気もするんですけど。
1:57:04	であればもうちょっとどういうふうに配置の考慮してるのかを文面で表して欲しいなっていうところもあるし、
1:57:13	そのあたり、何かお考えありますか。
1:57:22	はい。日本原燃石原でございますはい。ちょっとそうですね。
1:57:29	1 タケノの方は、ページ 30328 は別に
1:57:40	実階層にどんな設備があるかっていうのをヒアリング、
1:57:48	援護審査会合がありますので、そういったものを使って説明をすとかですね。
1:57:55	他にも図で説明できる範囲もあると思うので、関係性を整理していく。
1:58:03	ということも含めて、全体的に文章を拡充してなるべくなくてもいいようにというようなことも含めて、はい。
1:58:18	はい。補足です。
1:58:20	今の図は図であった方が我々としては今後その配置図面を見るときに、対応関係をぱっと見て理解した上で、見ていくというためには有用なので、
1:58:31	これはこれであった方がいいと思うんですけど、公開会合においては、今言われたように公開でわかるような書類、
1:58:40	いうのはこの前段にあったらいいだろうなということかと思えます。それをつなぐように、文章をしっかりと書いていくと。
1:58:48	ということで検討を深めていただければと思います。
1:58:54	はい、宮城石田でございます。はい、承知いたしました。
1:59:01	失聴ヤマグチです。
1:59:04	藤尾さんに関して、桃井最後 1 点だけ。
1:59:07	確認なんですけども、私の方からあと 318 ページの、
1:59:14	右下の火災の対策において、
1:59:17	鉛含む人集めアクリルパネルを削除っただけ書いてあるんですけど、これだけあと従来遮へい要求があったものについて配慮をなくしたように思えるので、
1:59:28	担保事故への影響っていうのはわかるように記載いただきたいんですけども。

1:59:34	あとちなみに、遮へい材っていうのは、あくまで自主対策扱いであって遮へい機能を担保していたものじゃない。
1:59:42	思っ
1:59:43	ていてよろしいでしょうか。
1:59:46	はい、日本イシダでございますはい。設計としてはおっしゃる通りでございます。そういうことも含めてわかるように記載をしたいと思っておりますはい。
1:59:56	わかりました。
2:00:00	は資料 3 に関して規制庁側から確認ございましたらお願いします。
2:00:07	規制庁上出です。
2:00:11	ちょっと見方というか、
2:00:13	教えて欲しいんです。
2:00:15	254 ページに、①で、詳細設計。
2:00:23	展開表。
2:00:26	があって、その数ページ、
2:00:30	後に、
2:00:32	②番として、
2:01:25	すいません。
2:01:28	ページの、
2:01:31	詳細設計展開表っていうのは、
2:01:35	これが、
2:01:38	同じ。
2:01:39	ものとしてずっと、
2:01:42	100、
2:01:45	70、
2:01:47	2 ページまで。
2:01:49	続いてんでしたっけ何か途中でフォーマットが変わってるように見えんですけど、何か、何か変わってますか。はい。
2:01:57	弓削ニシダでございます。はい。200 今言われた 54 ページから、
2:02:05	資料 2 で、構造設計として抜き出された、各条文の基本設計をしよう縦に並べて、一連整理をしています。
2:02:17	おっしゃるように
2:02:20	258 ページから、フォーマットが変わっているように、見た目見えるかもしれませんが、

2:02:29	テンプレートの欄が2段になってるっていうのが、27518ページからかな、耐震が出てきて変わってましてほかは一段で書いていたり。
2:02:40	それ添付書類の構成によるので、その前後で書くべきことは、特段他とフォーマットを変えてるつもりはないです。はい。
2:02:52	はい。鈴木。
2:02:54	耐震は、基本設計方針が何とかならんじゃうから、
2:03:02	ちょっと変わってるように見えてるだけで一緒です。
2:03:06	はい。日本原燃平でございますはい。
2:03:11	どこをさせばいいかな。
2:03:17	258ページ、基本設計方針があって、代表以外の設計説明分類があって添付書類ってのが今、
2:03:27	3-3、3-1-1の大元の添付書類等、ここ添付でついでに3-1-1-1から1-1-12までと欄を二つ分けて書いてます。
2:03:39	それ以降は仕様表記載項目設計分類、これ設計項目に直しますが、あと構造設計基準からの変更点この先書いてることってのはその前のページの257ページ見ていただくと、
2:03:55	基本設計方針があって代表以外で設計説明ふりがあって添付書類がいて、そのあと仕様表項目があってという流れが、特段変わってませんので、現状
2:04:05	この添付書類の階層に考えて2段にしているところだけが、
2:04:09	記載としてはケアをしているところということになります後は耐震の場合はA評価のことを考えて、さかのぼっていると設計見解へので、
2:04:21	種田氏をしておく必要があるんじゃないのかっていうことも含めて設計分類と今書いてます項目に括弧で、支持構造物とか、耐震
2:04:31	クラスとか、いろいろ加工に書いてますが特段やってること特別この耐震だけ切り分けてということではないと思ってます。はい。
2:04:40	はい。伊勢。
2:04:42	この
2:04:44	経営方針を資料2回持ってきてるんですね、資料2で、
2:04:51	どういうフラグが立っていうと、資料3に持ってくるんですけど。
2:04:57	はい。日本原燃賞でございます。資料2の段階で設計説明エッセ基本設計方針から、設計説明分類、設計項目の展開をしてその基本設計方針で展開しているこの設計項目の、
2:05:13	代表で説明する部分をこの設計説明分類にしますというのを選定をします。

2:05:18	その中でグローブボックスのチームを代表にやりますと言ってる項目がこの資料3のシートに飛んでくるということで整理をしています。
2:05:30	はい。規制庁神です。ちなみに、
2:05:33	具体的に言うと258ページは、
2:05:37	石井さんですけど、あのな、資料2の何ページ。
2:05:41	のところから、飛んできてるんです資料2にこう書いてあるから、資料3、本できてるんですよみたいな説明できます。
2:05:54	はい。稲毛ニシダでございます。困ってください。
2:06:40	はい。二本木ニシウラでございます早速記載ミスを見つけてしまいました、資料69と158ページが、五条6の耐震の14番の基本設計方針になります。
2:06:53	これ本当であれば、右から123IV、5675目からが設計説明分類がそれぞれ書いてありますけどここで代表が下線が引かれるんですけど、
2:07:05	下線が引いてないのでどこで識別できるかという今は、
2:07:10	日右から123番目のところで、27条の14-14代表と書いてあるもの、これを代表で説明しますよって言って、
2:07:22	という記載、これをキックにしてこの14番の基本設計方針の構造設計に係る部分をグローブボックス代表します。これが資料3に飛んでいきますと、
2:07:34	ということで、紐づけをしています。
2:07:40	はい。規制庁菅です。はい。見方は何となくわかりました。
2:07:45	そうなる等、資料3で説明されていること。
2:07:50	は、グローブボックスに限らず、
2:07:53	この代表の下にいる消火設備の移管になり、
2:07:59	に対しての説明も含んでますよ、もしくは、
2:08:05	何て言うんすかね。どっかでもいいですかね。
2:08:11	はい。弓削ニシウラでございます。はい。おっしゃっていただいているこの代表を選ぶというやり方の、
2:08:20	工夫をちゃんとしなきゃいけないところは、代表を選んで代表の説明を資料3に持ち込んで、
2:08:28	代表野瀬設備をターゲットに説明はしていながらも、それが代表にしなかった設備の説明も含まれますと、もしくは同一の考え方で設計がされますということで、が前提で、異論なし。
2:08:44	説明を展開をすると。

2:08:46	ここで差分があるんだという場合には、その代表を選んだ資料3で選ばなかったものを代表にしなかったもの、差分がどこにあるかも含めて展開をすると。
2:08:58	ということで、整理をしようと今してます。
2:09:02	はい、規制庁から、
2:09:04	ヤマシタというか
2:09:06	多分、
2:09:07	どういう観点で代表なのかっていうところをちゃんと定めていうおかないと資料の段階で、彦酸に飛んだときに、グローボックスだけのことを説明すればいいみたいになっちゃうと多分目的が、
2:09:22	達成できなくて、そのの要点というかですねそこを、2の段階である程度、代表とこういう観点での代表性だというのは、
2:09:34	明らかにしておく方がいいような気がしますけど、いかがですか。
2:09:40	はい、日本イシハラでございます。はい。なかなか記載のレベルが上がらないところは恐縮でございますおっしゃっていただいているように、資料2の代表を選んだときの考え方は、
2:09:51	この設計で代表にするといった観点で、代表以外のものが包絡できるもしくはその類似であると同義であると。
2:10:02	いうのはどういう観点でそれが同義だと言ってるのかと、いうことをしっかり書いて、目的をちゃんと示すと。
2:10:10	その目的を示されたその目的に沿った説明を資料3で展開をするということが必要だと思ってます。
2:10:16	ここで曖昧にすると、資料3が結局何説明すんだカッチてるんだかよくわかんなくなるので、資料2のこの説明グループの考え方のところの記載が、
2:10:26	一つのキーポイントだという認識がありますはい。
2:10:30	はい。規制庁、深見です。
2:10:33	それで258ページに戻ってみてもいい等、
2:10:37	やっぱり構造設計の欄、
2:10:40	なんかだとグローボックスの話ですね。
2:10:43	なっちゃってそうそうじゃないですけど本当はSクラス施設に対して基準地震動の見直しだからいろいろ補強とかもありますよ、多分そういうことを、そういう点においては消火設備であって、グローボックスと一緒にだから、グローボックスで、

2:10:58	ヒライとして説明しますよってということなんだと思うんですけど、何かその辺が見えなくなっちゃってるなって感じですね。
2:11:06	はい。ありがとうございます。
2:11:20	修正作業なりを進めたいと思いますが、まずはどういうやらなきゃいけないかって、
2:11:28	学校にやっぱ、
2:11:35	6番目、はい。
2:11:40	成長確率で、あとその隣、右から三つ目ですけど、既認可の変更点というところから持ってきてるんですけど、
2:12:00	はい、日本の市田でございます。
2:12:06	そう。
2:12:07	すいません神谷さんのどっかの生きてるっていうのはどういう趣旨です。
2:12:13	江藤どこかの資料にまたまとめたものを、いっぱい出してきているのか、もしくは、例えばですね、これはグローブボックスの図面なり計算計算書を、
2:12:26	今のものと昔のものを見比べて差分を起動いたしましたとかどういう作業をしてここ、記載したのか埋めたのかっていう感じなんですけど。
2:12:37	はい、日本ネシアでございますそういう趣旨からいきますと大きく二つあると思ってまして。
2:12:44	キリン課の書類と現行今回例えば出させていただいた申請書を見比べて出てくる変更点と、
2:12:52	今回の構造設計とかを展開する上でピックアップされたパーツみたいなもので既認可からここ変えてるよねと。
2:13:01	いうところを見る化しているもの、あとは、印可で見えるんだっけっていうところは何か明確に、
2:13:11	何か気にかかってきかき書いてないのに、変更したことを書いても、
2:13:16	難しいな。
2:13:18	見えないところも多分あるような気がするのでそこはちょっと今一度整理をします。はい。大分、
2:13:23	議員間で出した時の設備の前提との比較をして出してるところがありますんで、
2:13:29	申請書で読めないことまで書いてる可能性は否定できないのでそこも含めてチェックはします。
2:13:36	はい。規制庁神戸です。

2:13:39	そう、どういう作業をしてるのかっていうのは本文側でもう、やっぱりちょっと読めなくて変更点書きます。書いてあって本文だけ見るとそれでいいような気はしてたんですけど、実際にこう展開されたものを見てみるとあれ。
2:13:53	何、何と何を見たとか、例えばグローボックスだけ見たのかなと、他のものも含めて、ちゃんと見ていて、集約してこういう記載になってるのかっていうのがわからないので、どういう作業をしているか。
2:14:06	それはもう作業してるわけですからまずさせ、事実関係として説明してもらえれば
2:14:14	はい、弓削石田でございます承知いたしました。
2:14:18	はい。失礼。
2:14:20	です。
2:14:23	ちょっと資料 2-3 の資料に戻っちゃいますが、158 ページでしたっけ。
2:14:30	これでいうとさっき、
2:14:33	今度資料 1 と資料 2 の関係ってどうなってるんだっけっていうことなんですけど、
2:14:41	資料 1 で関係条文とか整理してるじゃないですかそこと、何かこの資料人間はリンクしてるんでしたっけ。
2:14:54	はい。日本原燃志田でございますはい。
2:14:58	少なくともはいやらなきゃいけないことは資料 1 で関係条文で、今回は 0 じゃなくて、
2:15:05	番号がいろいろついてますけどそれとリンクしてそこで耐震でフロア建ってるものが、
2:15:11	この中に登場するものということでございます。はい。
2:15:19	はい。規制庁管です。わかりましたというかそんなこと。
2:15:24	もうちょっと見て、
2:15:26	アドバイスニシウチだと、また変更点も書いてあるんですよさっき言いましたけど、そこと、また資料 3 をリンクです。してんのかなと思ったんですけど何かそういう話はなかったんであれどうなってるのかなと思いましたようです。
2:15:41	はい。宮城莉愛でございます。はい。資料 3 で書いてる変更点はおっしゃっていただいている資料 1 とリンクをしますタダノ、
2:15:50	資料 4 と今後リンクハラなきゃいけない部分も確か入っているのも全体、そこも含めてどういう整理してるかは、逆に言うと本文でもうちょっとちゃんと書かなきゃいけないですね。はい。

2:16:04	はい。規制庁管です。DC、今度また資料 1、2、前、違う値って、主な変更点となつてで、主なつてなんだよっていうのもあるんですけど、そこにすべからく全部、
2:16:17	入れてしまう、フォーマットとしてっていう感じがするんで、具体は、資料 3 っていうことでもいいんですけど、その辺少し体系的にというか、
2:16:27	体系的になるように工夫してもらえれば、
2:16:31	はい、日本ネシアでございますはい。変更点をピックアップして、構造設計等とあわせて説明をするという趣旨を踏まえた上で、
2:16:41	資料 1、資料 2 資料 3、資料 1 資料に資料 3、資料 1 資料参加の記載のすみ分けなり体系を整理をして、資料に展開します。はい。
2:16:54	はい、規制庁川満吉井
2:16:57	一応私の方から以上ですけど、逆に 2 から 3 の繋がりそして代表以外のものがどうなってるのかっていうのは、今日聞いた限りでは、かなりあやふやなので、また説明してください。以上です。
2:17:11	はい、宮城西原でございますはい、承知いたしました。
2:17:18	あと、補足ですけど、やはり耐震になる等、評価に意識が寄っていて資料 3 で十分手当ができてなかったっていうところを、
2:17:28	どこまでやる必要があるかっていうことじゃないかなと思うんですけど。
2:17:32	そうだとする等全般として評価と設計の対応をしっかりと表現していくっていう作業。
2:17:40	進めていかないといけないっていうことだと。
2:17:44	ですが、
2:17:47	再処理の方の竜巻溢水はこれから、そういう視点をしっかりと整理をしていくっていうフェーズですけど、このMOXグループ一井に対しては、
2:17:58	ある程度、グローボックスでは議論をしてあるので、
2:18:05	他の設備も含めて仕上げていくっていうこと。
2:18:09	なんだと思いつつ、本当にできてます、できますとかっていうところはどんな感じなんですかね。
2:18:18	はい。二本木西浦でございますはい。まず
2:18:23	きてるできればグローボックスで整理をすれば、一連が展開ができるだろうと思っていた他の項目がまず展開できてなかった、できなかったところもありますんで、
2:18:34	他の資料にグローボックスでやったことを反映するための考え方内容を整理をしていくと。

2:18:44	いうことを先ほどお約束しましたが、その中に、グローボックスでまだ整理できた草間が、
2:18:52	考え方をちょっとまだ整理しているわけではない。その中で合わせて、
2:19:00	評価と言いながらも、評価のことだけではなくて評価の例として考えないといけない構造設計みたいなものをちゃんと
2:19:10	拾い上げて展開をしていくんだと、いうこと考え方を具現化していくというふうにやったのかを明確にしていくということで、
2:19:21	今後、お出しをしてヒアリングでやって、今後展開しなきゃいけないグローボックス作業のやり方みたいなの中に入れて、
2:19:30	話をさせていただいて、これじゃ足りんという話もあるかもしれないのでそれをブラッシュアップしていったらどんどん展開をしていくと。
2:19:38	ということで、作業のレベルを上げていくということかなと思ってました。
2:19:46	はい。コサクですわかりました。最初にお話をさせていただいたところに帰着するということだと思うので、来週の資料提示で偉い5日のヒアリングですかね。
2:20:00	いうところで、大枠の、
2:20:03	整理がどうなってるのかっていうことを確認できればと思います。よろしくをお願いします。
2:20:12	院長山口です。吉尾さん含めて他、規制庁側から特にございますでしょうか。
2:20:21	規制庁コサクです。
2:20:23	途中途中で少し触れたんですけど、
2:20:26	次回の審査会合D、どこD、
2:20:31	どう出していくかっていうような古藤なんですけど。
2:20:36	まず、
2:20:37	共通中にMOXグループ1の資料は、基本は一式出さ別添のような形で出されて、
2:20:47	その骨格を示すようなものを本体として提示されるのかなというイメージでいたんですけど合ってますか。
2:20:55	はい。日本原燃石田でございますはい。そう考えてました。できはさておきてございます。はい。
2:21:02	はい。補足ですわかりました。まず、
2:21:04	であれば先ほど言ったように公開できる書類をつくり込みつつ、それとの附属物としての非公開があればそこは後でつけてマスキングしてあればいいと。

2:21:16	というようなことかと思うので、対応進めていただければと。
2:21:20	思います。
2:21:24	はい、乳井西原でございます。はい、承知いたしました。
2:21:30	シオヤヤマグチです他、規制庁側からありますでしょうか。
2:21:37	はい。
2:21:39	規制庁山口ですがなければ原燃側から振り返りをお願いしたいんですけども。
2:21:46	もう、
2:21:47	面的なところで、
2:21:50	すぐにこの場でやるか休憩を挟んで整理してから、いかがでしょうか。
2:22:01	はい、与儀ニシウラでございます。
2:22:04	はい。
2:22:08	このまま続けてやりますかね。はい。はい。
2:22:12	山村です。
2:22:18	私の対応方針も出されると思うのでこの場では栗振り返りの方お願いします。
2:22:26	あれ聞いてね。
2:22:38	はい。宮城の石田でございます。はい。
2:22:43	と、
2:22:47	ちょっと違う、違う、違う日です。以上。
2:22:53	すいません。ちょっと待ってください。
2:23:10	恐縮です。
2:23:13	十分時間くださいやっぱりはい。申し訳ないです。
2:23:16	わかりました。それでは5分。
2:23:20	どうも、毎年てといった録音接種
0:00:00	先生ヤマグチです録音を開始しました下に、
0:00:04	お願いし、
0:00:07	はい。2番目のイシダでございます。項目としては大分やりとりの項目を細かく書いてますが対応方針としては下手するもので、
0:00:19	ある程度目的に沿ってまとめて対応方針修正版を出したいと思います。
0:00:25	まず資料1資料西尾さんそれぞれの項目ごとに展開をしていますが、
0:00:34	①番は、設備リストをいろいろまとめて整理をしているので、他の番号との整合という話です。

0:00:43	② 番の方は施設共通の基本設計方針これを展開してるんですが、これどういうふうに紐づけて整理をしていってるのかというのと、抜け漏れがないようにどう原案をして考えているのかという点を、本文上明確にすると。
0:00:59	ということで、資料 2 とのリンクもありますんでそこも含めて整理をさせていただきます。
0:01:06	③番、お礼
0:01:09	壁の井清に対する貫通し姿勢処置の話で出てきましたが第 2 回以降マルつけている理由ということ、9 月、
0:01:18	これ以外に建屋の中に排気するといった
0:01:22	換気設備等々のところの第 2 回での間、第 1 回と第 2 回の関係の整理も含めて、させていただきます。
0:01:32	実際委員会の建屋に配置するといった部会具体は、第 2 回以降、エザキの設備に応じて展開をさせ申請として展開をさせていただくということかと思ってます。
0:01:43	資料 2 に入りますと、コサクでは、①なんですけど、
0:01:50	最初に言えばよかったんですけどそもそももう申請書で整理している設備リストと整合して作業するっていう前提があったはずなんですけど、
0:02:02	なんでまだこんな話になってるかっていう背景を教えてくださいませんか。
0:02:10	はい。宮城ニシダでございますはい。藤原さんとのやりとりの中でも申し上げたかもしれませんが、
0:02:19	こちらの水平展開の甘さだと思ってます
0:02:25	第 2 回を申請する前にあった第 1 回の申請の時のやりとりで、ディー・ディー・エスA兼用のものっていうのを、
0:02:33	どういうフラグ立てで申請対象説明書を整理するかと、いうことは、やりとりをさせていただいて、
0:02:40	必要な政令展開を図ったはずだったわかったんですけどそれがうまくいってなかったと。
0:02:46	ということで、今回手をつける羽目になったということだと思ってます。
0:02:53	最初に含め、第 1 回的には相当これは品で項目を立てて、
0:03:00	行く必要があるのか、仕様表との関係はどうなるんだというやりとりをしてたんですが、その生展開がまだ十分できてなかったという結果が出ているのかなと思ってます。

0:03:12	今一度全体に水平展開かけて同じようなものがないかというのは、最初に含め、整理をさせていただこうということで今やらしていただいと 思っていました。
0:03:24	コサクですけどちょっとよくわかんないのが、水平展開って何ですかっ ていう気がしてて、設備リストはどちらにしても第1回で整理したはずと。 今後はそれをベースに、
0:03:36	すべてについての対応をしますというのも、基本的な、
0:03:41	お約束事項であり、作業方針であり、
0:03:44	それを第2回になったら覆しますって平気で言う事業者の申請対応な んかとてもじゃないけど取れないよっていうことになっちゃうんですけど。
0:03:56	なんでそう、自分たちが言ったことを守れないんですかね。
0:04:01	守らないような作業者たちなんですかね。
0:04:09	はい。日本原燃石田でございます。おっしゃっていただいたように分割 申請をしますと、
0:04:16	いう宣言をして第1回で決めなきゃいけないことが何かと。
0:04:21	いうことでこの申請対象設備リストも第1回で全体を
0:04:27	包含して第1回でちゃんと決めようということをやっていたのは認識をし てます。それが決まっているからそれを前提に、紙設備の漏れ抜け漏 れがない関係する条文で抜け漏れがないことが、
0:04:42	第1回で整理ができてるから、
0:04:44	それを前提に、今回の共通にも聞くにして、全体を展開しましょうという お約束だったのは認識をしています。
0:04:54	はいそれを言ったのも確かに私どもなのは認識をしていますけど、
0:05:02	それができてなかったのはなんでかってば、しっかりと
0:05:06	理由も含めて整理をし、他に同じようながないのかっていうところと、
0:05:13	そうですね、前提を覆すようなことが今後あってはならないということはお っしゃる通りだと思います。
0:05:19	はい。
0:05:20	今は言え結構あるんですけど、令和だったわけではないというのは、唯 一の救いであったかもしれません。はい。
0:05:31	はい。コサクです。もしですね、作業してたら、漏れがあったとかっていう なら、正直にそれはそう言えばよくて、
0:05:42	つい監視するときに、枝番で入れるのか何だかわかりませんが、工夫 をしていけばいいんであって、
0:05:50	原燃の作業の悪いのは、常にゼロベース。

0:05:55	積み上げてという段分割申請のはずなのに、毎回ゼロからやる。
0:06:00	結果違うことをやろうとする。
0:06:03	によって不整合が生じる。
0:06:06	是正をしなきゃいけない。
0:06:07	更新を見直さなきゃいけない。
0:06:09	ということで、作業をふやす方向で一生懸命やろうとするんですよ。一生懸命っていうかちょっとよくわかりませんが
0:06:16	そうではなくて、分割なんだからちゃんと積み上げていきましょうね。
0:06:20	作業方針に変更があるんだったら変更としてしっかりと話しましょうねと。
0:06:27	ということなのを、何だか曖昧にぐじゃぐじゃやるから話が混乱するんだと。
0:06:32	ということですから、今後こういうようなことがあるんだとすると、第1回でせっかくあるだけ、大したことない設備数で2年もかけておいて、
0:06:41	やってたことが、
0:06:43	×2万なり何なりで今後時間かかりますよっていうことになっちゃうわけなので、ちゃんと積み上げを大事にしてやってください。
0:06:52	それを作業者が石原さんが理解してるの私も理解してますけど、作業者が理解してないっていうのが一番問題なので、
0:07:00	そこを
0:07:02	どの断面切っても、ちゃんとその認識で作業するっていう状態に原燃の組織がならないと、一向に作業が安定しませんのでよろしくお願いします。
0:07:14	はい。逃げれシェアでございます。はい、承知いたしました。
0:07:20	規制庁の荒井ですけど、ずっと今言った水平展開って元となる生のものっていうのは、第1回のものでしょうか。
0:07:30	把握色紙しきれてなくて恐縮なんですけど、
0:07:36	はい、稲毛西田でございますはい。第1回にの設工認申請書につけた申請対象設備率と、縦軸、横軸含めて、
0:07:47	必要なものをすべて上げたというのを整理してきたということでございますはい。わかりました。
0:07:55	別分だけなんか、
0:08:01	規制庁コサクですけど、念のためですけど、そこからずれが生じたわけではないっていうことでもいいんだよ。
0:08:08	だからね、そういう確認は取れてます。はい。

0:08:10	はい。日本原燃新屋でございますはい。設備として増えたわけではないですし、そこに入ってる適合性を説明すべき条文が変わったわけではありません。
0:08:23	というものがまず前提でございます話をしてるはい。
0:08:26	はい、そうです。わかりました。であれば、何やってんだっていただけなんですけど、先ほども言ったようにもしそこ不足があったら、正直にちゃんと行ってください。よろしくお願いします。
0:08:43	はい、与儀西田でございますはい、承知いたしました。
0:08:48	はい。続きまして資料2でございます。はい。
0:08:53	資料2、全体的にグローボックスでやってきたこれが発端ではあるんですけど、資料2から資料3で資料3のことも踏まえて資料2の記載と、
0:09:06	いうことのレベル感が十分ではないと。
0:09:11	ということでグローボックスの資料に資料3を作る時に考えていたことを、
0:09:19	やりとりをしてレベルプラスアップをしてきた時のやり方であったり、逮捕対応方針の中に、項目として挙げた上で、
0:09:29	それを他の作業のチームとの共有が図れるようにしていくと。
0:09:34	いうことをやるというのが、④番でございます。
0:09:39	はい。⑤番。
0:09:44	これは基本設計方針からの展開が抜け漏れなくできてるかっていうところが、明らかに添付書類のリンクが、
0:09:54	足りないということも含めて整理が必要な点、あと個別補足説明資料との関係の話も、
0:10:02	整理をしていくということかと思ってます。
0:10:05	はい。200、6番も同じですね。可動機器の低ネット団体云々と書いてあるところは、個別補足説明資料で、学校施設MOXでの核燃料物を取り扱う設備というのはどういうものがあるかと。
0:10:20	いうことの全体像も含めて整理をしていくと、いうことを個別補足説明資料で展開をして、かつ、資料2での、
0:10:29	基本設計方針該当する設備があるなしところは、趣旨がちゃんとわかるように、記載を拡充をしていくということかと思ってます。
0:10:39	はい。
0:10:42	ええ。
0:10:48	⑦番はあれですね、
0:10:52	何だっけ。

0:10:59	アリーナ、あそこどっちか。
0:11:02	北海の除去に関するかかる換気設備のシステム設計課、これですねプレフカードとかの話ですね。
0:11:10	これがでもそういった8番じゃないの。
0:11:15	この8番ですね。
0:11:17	7番なんだっけ。
0:11:24	なんだっけて俺が言っちゃ駄目なんだ。
0:11:32	うん。
0:11:38	あれだ。
0:11:40	崩壊熱除去があるかは換気設備のシステム設計とリンクとって、
0:11:45	整理をしないとイケないっていう関係性を、
0:11:48	大体グループ1でどこまでやりますかっていうのを、関係も整理をしましょうって言った方がなバック。
0:11:55	すいませんごめんなさい。はい。8番がブルー富化度の話ですね。し評価の前提になっているもののリンクをどう図っていくかという話。抜け漏れがないようにということで整理をしていく。
0:12:09	はい。9番は、重複記載の話は、記載方針を担当整理をし、提示をさせていただきます。
0:12:19	単純にグループ化の
0:12:22	月をしてしまうと何言ってるかわかんないのでそれぞれ書くべきことをちゃんと決めて、
0:12:27	どういうふうに、同じようなものが並ばないようにするかっていうのは整理をしていきます。
0:12:36	2番は建屋に収納する設計といったものが、実際の設計という報告をいただいてますが具体的に設備がどこにつくのかと。
0:12:51	この方針通りなのかっていうのは、第2回で説明する対象として整理をしていくと、いうこと。
0:12:59	はい。
0:13:05	11番冒頭宣言で冒頭宣言して、抜けがちゃんと設計方針の他にできてますよねということを整理をする。
0:13:16	広がりも含めて考えると、いうふうに思ってます。そういうお約束だったのができてないところがあると、いうことだと思ってます。
0:13:32	あと、古作です。
0:13:34	①番はさっきのプルーフ稼働のところの話で出てきたんだと思うんですけど、

0:13:42	対応としてはあれですかね、プルーフ稼動では個別で対応することもあるから別で整理してるってことですか。
0:13:49	はい。日本原燃志田でございます。プレフクドウの方は他のコウノ設計とかの紐づけをどういうふうに示していくかっての構造設計、評価のことを考えて構造設計を導き出したところの、
0:14:03	整理の仕方との関係の整合というか、関係性の整理も言いますので、個別で挙げました。11番、どちらかという、換気設備が冒頭制限ばかりになって、何も設計説明できるんじゃないかねえかって話のところの、
0:14:19	展開を、
0:14:21	他にもちゃんとしないといけないねってところで、11番挙げてます。
0:14:26	古作です。私としてはどっちも同じことだと思っていたので、
0:14:33	両方とも、
0:14:35	共通するところが多いし、対応としても同じようにしていかなきゃいけないことだと思うんで、連携図って、
0:14:43	対応がばらつかないようにしてください。
0:14:48	はい、宮城西田でございますはい。おっしゃっていただいていること理解ですはい。
0:14:54	冒頭宣言が冒頭宣言なり得るのか、存在してもいいのかっていうところの整理の中の一環で、評価の前提設計の前提になってるよねっていうのが8番の項目、その必要だっていうのはおっしゃる通りだと思いますんで、
0:15:08	全体整理してどういう対応をしていくかというのは、
0:15:12	対応方針側での整理をす。
0:15:15	して、明日提示できればと思いますはい。
0:15:19	はい。で、7番、古作です。7番もう現状書いてるのだと話がずれてるようにしか私も読めないんで、
0:15:28	東郷。
0:15:30	令和そもそもあれですよね生産系の設計方針なんかを、
0:15:35	ちゃんと明確にし、
0:15:37	て言って、それとの対応関係での説明が漏れないようにということと、
0:15:42	じゃないかなと思うんですけど、違いました。
0:15:47	それは多分資料3で挙げてたと思うので、すいません私も7番が何だったかも一度、ちょうど、
0:15:56	音声聞いて、毎回、私も理解をし直します。はい。ちょうど施設だったような気がします。はい。

0:16:04	じゃあどうして。
0:16:07	ニワ。
0:16:07	根井。
0:16:08	熱を持ってる。
0:16:10	いう、
0:16:12	ここのグループに飛ばしてるやつも抜け漏れがない今月のグループで説明するでしょはいわかりましたすみません、ごめんなさい、ちょっとそれがわかるように後で提出し、
0:16:22	書き方を工夫しておきます。はい。はい、わかりました。
0:16:27	治療さん言ってもらっていいですか。3、
0:16:32	資料3でそれはどこに出てくるかは、
0:16:39	これでなかったらびっくり。
0:16:43	自売3番。
0:16:47	はいこれですね。はい。
0:16:49	これもすみません、古作です。それで言うと、
0:16:53	私は資料にはねるん当然はねるもんだと思って話をして、
0:16:59	いたんですけどこれ妥当、そっちには行かず個別に飛ぶってなると、多分作業も今後全部起こしますよ。
0:17:08	はい、宮城西原でございますはい。
0:17:11	13番のケアをするとき、っていうか他にも資料3を直したときに資料2にフィードバックをかけるっていうのもちゃんと考えろと。
0:17:21	いうことは、13万をキックにしてお金も同じように展開できるように、対応方針側でちょっと工夫をします。おっしゃっていただいているところが抜けるポイントであると思うのではない。
0:17:36	はい。補足ですよろしくお願ひします。
0:17:45	12番は、
0:17:50	さっきの上の方と同じですね。はい。
0:17:53	で、13番が先ほどの話。
0:17:57	14番は、構造設計のこれは
0:18:05	データの補修も含めた全体まだこういうところか鍛えてないという話をしたところから出てきた、構造設計を説明するために前提となるシステム設計との関係。
0:18:16	ちゃんとリンクを入れてこれはちゃんと資料2へのフィードバックって書いてんだな。

0:18:22	はい。それで、そういうことも含めて整理をしましょうということでございます。あとは十四条で全体案いう側で言ってる保守性の確保というところの関係も整理をしていくと。
0:18:33	いうこと。
0:18:34	はい。
0:18:37	15番は資料3の②の中で
0:18:44	目次とか図の中で、他の説明各銀行飛ばしてるものを、これがまず抜け漏れがないかっていうチェックが必要だっていうのと、設計説明払いでの隅括弧で、飛ばし合いをしてるところこれの整理の考え方みたいなものを本文側でケアをしていくと。
0:19:02	いうことかと思えます。
0:19:05	16番が資料3の②、前から言われている図と吹き出しのリンクですね、これがちゃんと一対一になるようにということの+17番とセットだと思いますその説明において図を、
0:19:20	直さなきゃいけない場合はまずも含めて整理をしていくということ。
0:19:26	18番は、会合に向けて使い方としてどういうことを説明するのかっていうのを整理した上で、会報の本体資料ではマスキングがないように、
0:19:37	図を整理していくと、いうこととその中で開けに行く変更点というのは今回の説明の項目でかつ、資料3の②とか資料3の①での、
0:19:48	現行にとって、全体説明項目じゃないので、
0:19:51	その中でも当然マスキングが必要ないような図に差し替えて整理をするっていうのをやっていくということ。
0:20:00	だと認識をしています。
0:20:04	はい。19番は、耐震ところでお話をいただいた他でも同じなんです
0:20:12	が、資料3のある1と資料2の関係、また、資料2の中での代表選定のときに、資料3に預けてる範囲がどこなのかと。
0:20:22	いうところの前提に、書き方代表の考え方の理由をちゃんと書いていくと。
0:20:28	いうことです。はい。
0:20:31	あとは、20番はですね、筋肉変更点前にも同じように、
0:20:39	逆向きの変更になってますのでそこ整理ということ、
0:20:46	あとは、どこからこの変更点が出てきたのかと、いうことの整理をする
0:20:54	と、いうこと。あと、思ってます。はい。

0:20:58	以上です。ちょっとこれを、対応すべきことっていうのを、グルーピングしながら、
0:21:06	方針としてしっかりと整理をして、
0:21:10	はい。明日お出しをしたいと思います。
0:21:14	規制庁山内です。そうすると、
0:21:17	規制庁側からセンターとして確認ございますでしょうか。
0:21:24	規制庁上出です。ちょっと振り返りの内容じゃ長くて、ちょっと中身で聞き漏れがあったのでちょっと確認したいんですけど。
0:21:36	MOXの
0:21:37	設計説明分類金は 16 種類ですって資料上なっていて、
0:21:47	該当するページが 17 ページ 18 ページにあるんですけど、
0:21:53	項目の 2 番で、グローブボックスと同等のとじ込み機能を有する設備っていうのが、今回資料 1、見た限りだと一つの機器しかなくて、それに、
0:22:05	愛子分に割り当ててるんだと思って見てたんですけど、これって、後から増える場合はどうしてもやっぱり分類として必要なだったとか、そういう考え方ってあるんですか。
0:22:17	はい。乳井ネシアでございます。まず基本設計方針含めてやはり下 1 番目と 2 番目書き分けてる部分があるので、そこも含めて分類を分けたというのと、
0:22:30	おっしゃっていただいたように今回第 2 回の範囲でいきますと、2 番目の分類ほとんどなくて 1 個しかないんですが、参加になるとこれが、それなりに 2 個ぐらい三つ、
0:22:41	焼結炉か、それなりのメインの機器が、第 2 回で出てきたりするところもあって、
0:22:47	ピンで立てさせていただきましたが、そこも含めて、今後資料に資料 3 作りながら整理をしていきますが現状はそういうことで分けさせていただいております。はい。
0:23:00	はい、規制庁監事わかりました。
0:23:08	院長山内です。バッチ 1 オオバからございますでしょうか。
0:23:15	藤原岩の特によろしいでしょうか。
0:23:20	はい。日本原燃は特にございません。
0:23:23	はい。それではこれでヒアリングを終了しますので録音を停止し、